

ICT活用事例に関する調査集計

(教務責任者向け 結果)

デジタルハリウッド株式会社

目次

1. 教務責任者を対象とした調査集計 概要
2. 専門学校教育におけるICT活用の実態把握と課題抽出
3. 各設問の回答結果

1. 教務責任者を対象とした調査集計 概要

1. 教務責任者を対象とした調査集計 概要

【目的】

専門学校教育におけるICT活用の実態把握および課題抽出のために本調査を実施した。

【対象】

全専研加盟校の教務責任者（教務部長レベル）を対象とした調査

【調査方法】

調査票ダウンロード型調査

※調査依頼メールから調査票をダウンロードし回答、メール提出

【実施期間】

平成30年8月28日～9月10日

【アンケート回収数】

101名（各校に1名の教務責任者がいると仮定すると全教務責任者数126名となり、回収率は80.1%となる）

2. 専門学校教育におけるICT活用の実態把握と課題抽出

実態と課題の要旨

ICT活用教育について、大半の教務責任者が重要であると認識している。

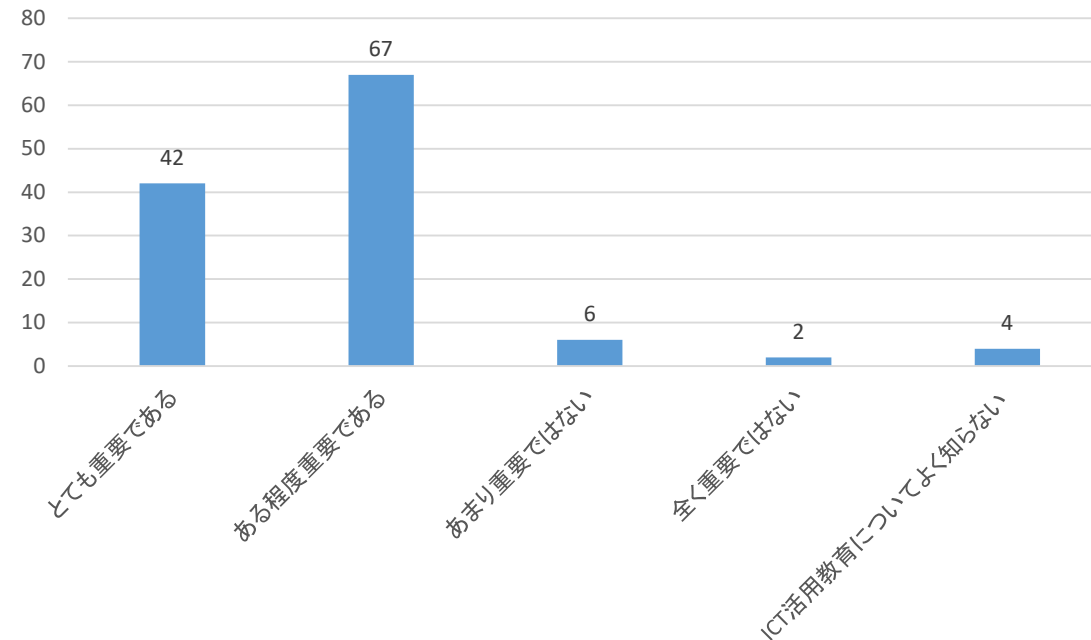
ICT活用教育導入は『学生の学習効果』『教職員の作業効率化』が主目的としており、導入した結果、概ね期待通りの効果を発揮している。

しかし、ICT活用教育導入・運用には様々な阻害要因が存在している。その主たるものは、『予算・時間の不足』と『担当人員の質量両面での不足』である。

■ICT活用教育は約90%の教務責任者が重要であると回答 (回答数109/121)

その内の約39% (回答数42/109) の教務責任者が『とても重要である』と回答

No.	選択肢	回答数
1	とても重要である	42
2	ある程度重要である	67
3	あまり重要ではない	6
4	全く重要ではない	2
5	ICT活用教育についてよく知らない	4



■ ICT活用教育は約90%の教務責任者が重要であると回答 (定性的コメント例)

- 時代の変化に伴い、ICT活用教育の重要性は早急に高まることはおおいに予想されるため、活用を前向きに検討していますが、その前段としての方針策定や知識習得に向けた研修等に積極的に関わりたいと考えております。
- 高校の中で、授業中にスマホの活用が認められるようになっていくところもある。ICT教育にどの様に取り組んでいくか、今後は私たちの日常生活中でも、さらに進化したものが開発されることが予測されます。今後は授業での活用も積極的に導入していくことが必要であると感じています。

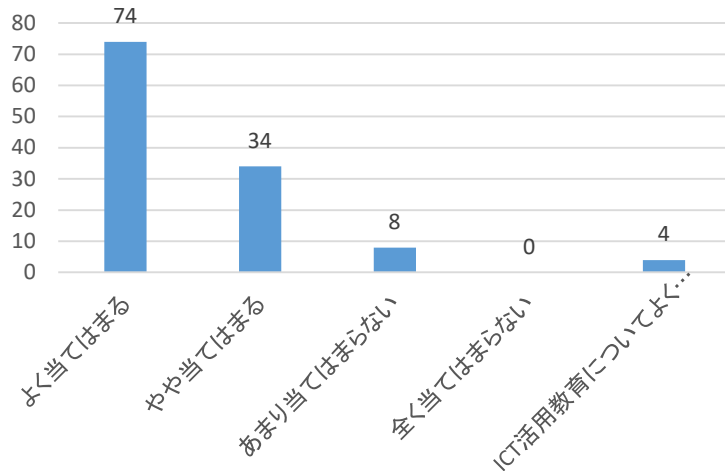
■ICT活用教育に強く期待する効果の上位3つは以下の通り

(1位) 『学生に対してより便利な環境の提供』（「よく当てはまる」回答数74、全体の約62%）

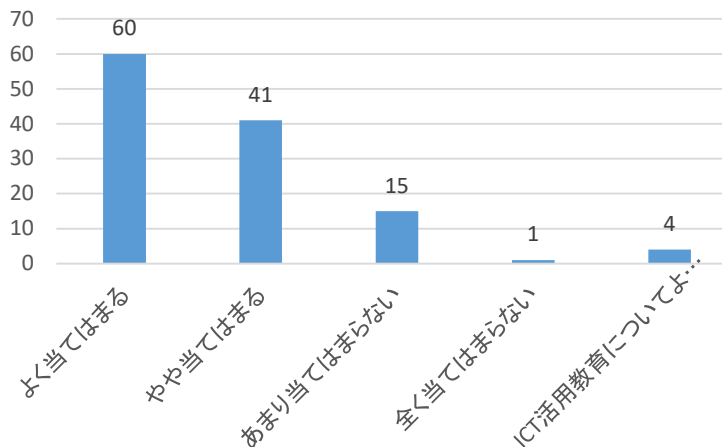
(2位) 『学生の学習効果の向上』（「よく当てはまる」回答数60、全体の約50%）

(3位) 『教職員の作業効率化』（「よく当てはまる」回答数50、全体の約41%）

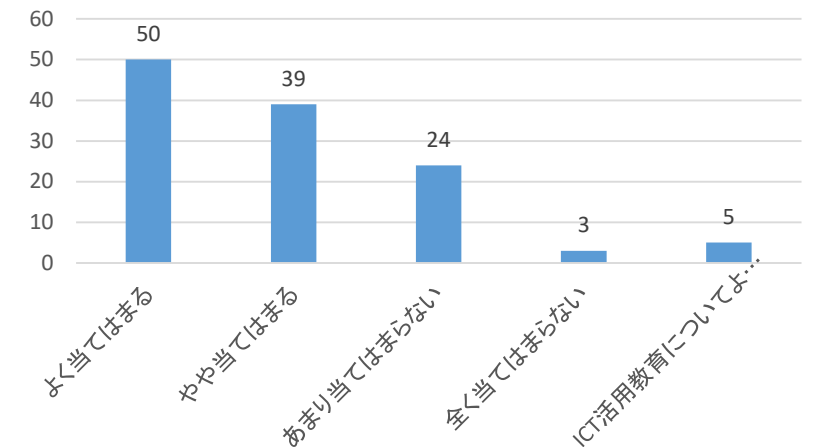
No.	期待している効果	
(1)	学生に対してより便利な環境の提供	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	74
2	やや当てはまる	34
3	あまり当てはまらない	8
4	全く当てはまらない	0
5	ICT活用教育についてよく知らないので回答できない	4



No.	期待している効果	
(3)	学生の学習効果の向上	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	60
2	やや当てはまる	41
3	あまり当てはまらない	15
4	全く当てはまらない	1
5	ICT活用教育についてよく知らないので回答できない	4



No.	期待している効果	
(8)	教職員の作業効率化	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	50
2	やや当てはまる	39
3	あまり当てはまらない	24
4	全く当てはまらない	3
5	ICT活用教育についてよく知らないので回答できない	5



■ ICT活用教育に強く期待する効果 (定性的コメント例)

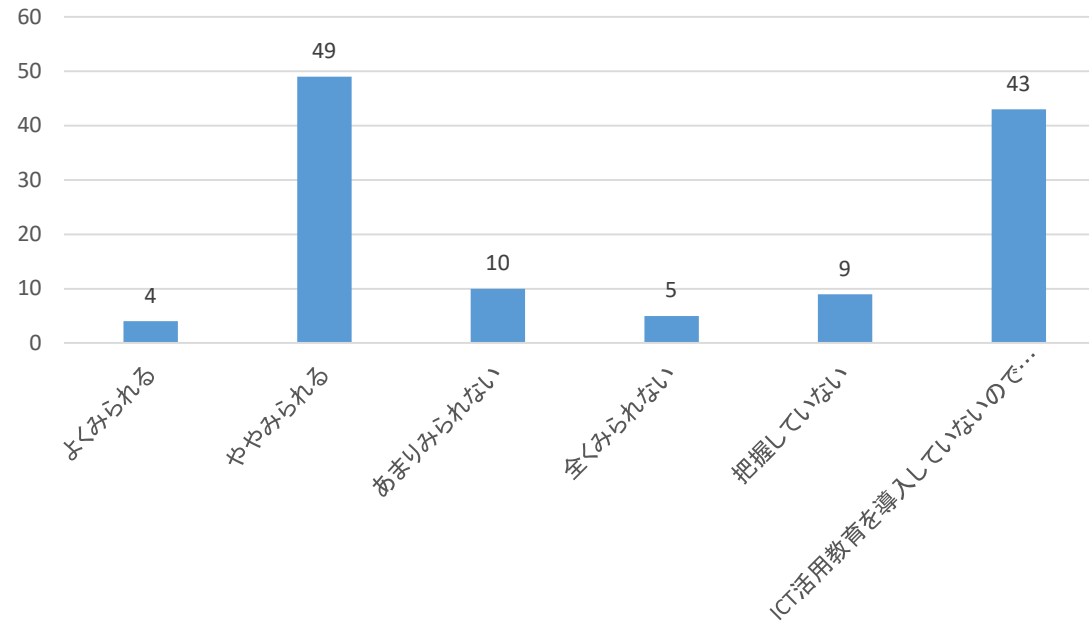
- 学生が、「受け身」の学習ではなく、ICTを活用した教材などにより「反転学習」などを行なう事で、基礎・基本的な事は学生が自習学習的に学び、発展的な事を授業により理解を深めるような形式の授業を展開したい。Word、Excelなどの基本的な操作はもちろん、プログラミングやCGの基礎などを反転学習により習得させたい。
- 今後、遠隔での双方向授業は促進されると考えます。しかし、多様な背景をもつ学生、特に基礎学力の強化が必要な学生にとって、教員の対面でない授業が果たして学習効果があるのか否か疑問や不安があります。
- ICT活用により教科書だけでは理解が難しい内容の理解度アップ、アクティブラーニングの実践、eラーニングによる自宅での予習・復習などを進めたいと考えています。課題はICTを活用する教員研修です。今後は成功事例や具体的な導入方法についての研修を望みます。

■ICT活用教育を導入して実際に効果が出たとの回答は全体の約44%

(回答数53/120)

ただし、『よく効果が出ている』と回答した教務責任者はその内の約8%（回答数4/53）にとどまることから、効果は限定的であると思われる。

No.	選択肢	回答数
1	よくみられる	4
2	ややみられる	49
3	あまりみられない	10
4	全くみられない	5
5	把握していない	9
6	ICT活用教育を導入していないので回答できない	43



■ICT活用教育を導入して、大きく得られた効果の上位3つは以下の通り

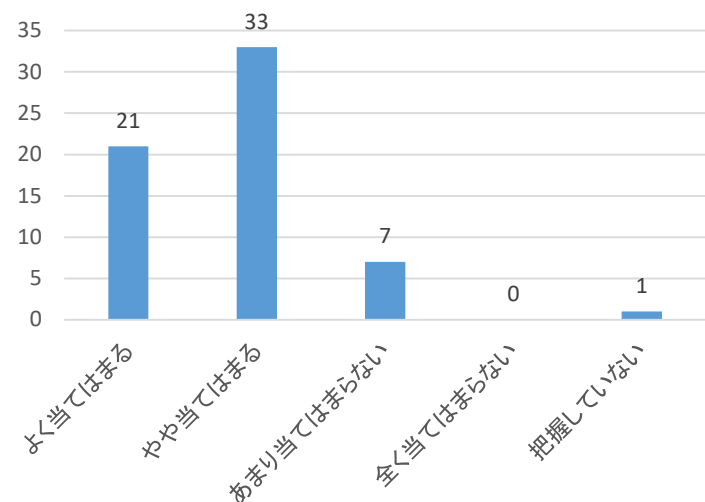
(1位) 『学生に対してより便利な環境の提供』（「よく当てはまる」回答数21、全体の約34%）

(2位) 『学生の学習効果の向上』（「よく当てはまる」回答数16、全体の約26%）

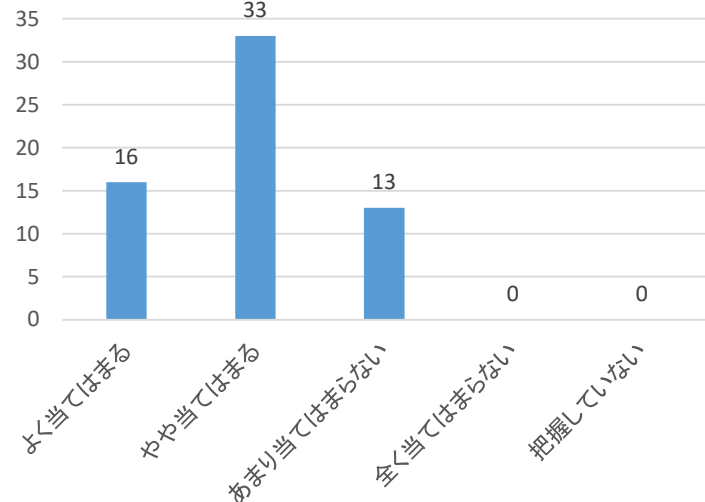
(3位) 『教職員の作業効率化』（「よく当てはまる」回答数14、全体の約23%）

となり、期待と（実際の）効果の程度差は見られるものの、項目は一致しているという状況である

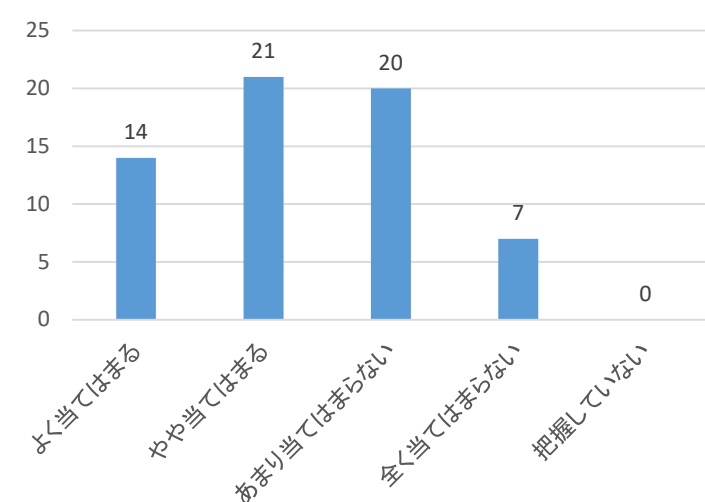
No.	得られた効果	回答数
(1)	学生に対してより便利な環境の提供	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	21
2	やや当てはまる	33
3	あまり当てはまらない	7
4	全く当てはまらない	0
5	把握していない	1



No.	得られた効果	回答数
(3)	学生の学習効果の向上	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	16
2	やや当てはまる	33
3	あまり当てはまらない	13
4	全く当てはまらない	0
5	把握していない	0



No.	得られた効果	回答数
(8)	教職員の作業効率化	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	14
2	やや当てはまる	21
3	あまり当てはまらない	20
4	全く当てはまらない	7
5	把握していない	0



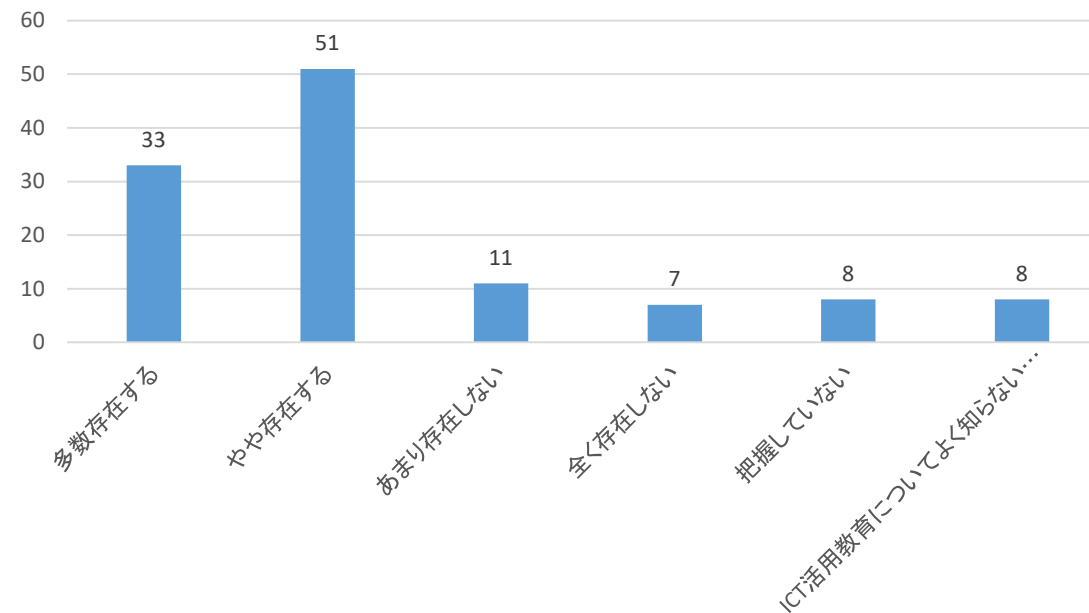
■ ICT活用教育を導入して、大きく得られた効果 (定性的なコメント例)

- 国家試験対策に関してですが、最近導入いたしました。そのため、十分な評価ができておりません。しかしながら、今までに比べ学生の状況や進捗の把握には繋がっており、弱点チェックもできております。

■ICT活用教育導入について、約71%の教務責任者が推進の阻害要因 有りと回答 (回答数84/118)

その内、約39%（回答数33/84）の教務責任者が、阻害要因が『多数存在する』と回答

No.	選択肢	回答数
1	多数存在する	33
2	やや存在する	51
3	あまり存在しない	11
4	全く存在しない	7
5	把握していない	8
6	ICT活用教育についてよく知らないので回答できない	8



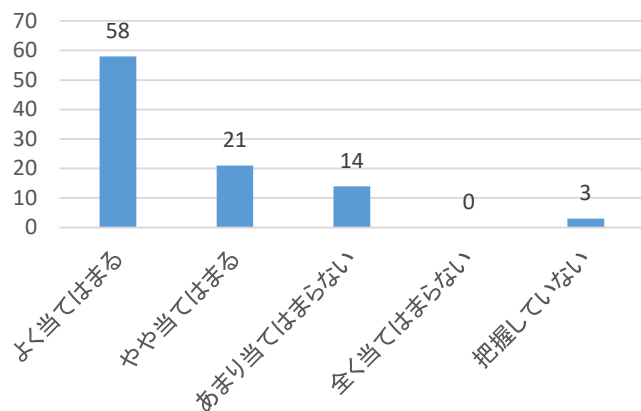
■ICT活用教育導入の大きな推進阻害要因上位3つは以下の通り

(1位) 『予算の不足』(『よく当てはまる』回答数58、全体の約60%)

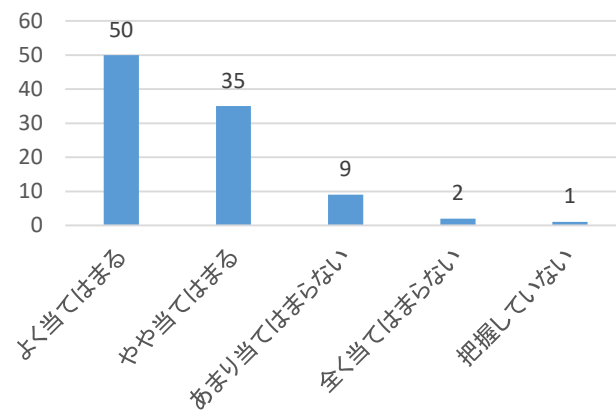
(2位) 『時間の不足』(『よく当てはまる』回答数50、全体の約52%)

(3位) 『教職員へのICT活用の技術支援体制の不足』(『よく当てはまる』回答数43、全体の約45%)

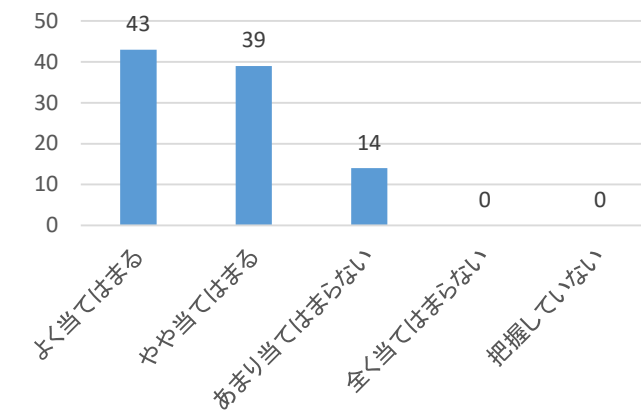
No.	阻害要因	No.	阻害要因		
(6)	予算の不足	(7)	時間の不足		
No.	選択肢	回答数	No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	58	1	よく当てはまる	50
2	やや当てはまる	21	2	やや当てはまる	35
3	あまり当てはまらない	14	3	あまり当てはまらない	9
4	全く当てはまらない	0	4	全く当てはまらない	2
5	把握していない	3	5	把握していない	1



No.	阻害要因	No.	阻害要因		
(7)	時間の不足	(9)	教職員へのICT活用の技術支援体制の不足		
No.	選択肢	回答数	No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	50	1	よく当てはまる	43
2	やや当てはまる	35	2	やや当てはまる	39
3	あまり当てはまらない	9	3	あまり当てはまらない	14
4	全く当てはまらない	2	4	全く当てはまらない	0
5	把握していない	1	5	把握していない	0



No.	阻害要因	No.	阻害要因		
(9)	教職員へのICT活用の技術支援体制の不足				
No.	選択肢	回答数	No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	43	1	よく当てはまる	43
2	やや当てはまる	39	2	やや当てはまる	39
3	あまり当てはまらない	14	3	あまり当てはまらない	14
4	全く当てはまらない	0	4	全く当てはまらない	0
5	把握していない	0	5	把握していない	0



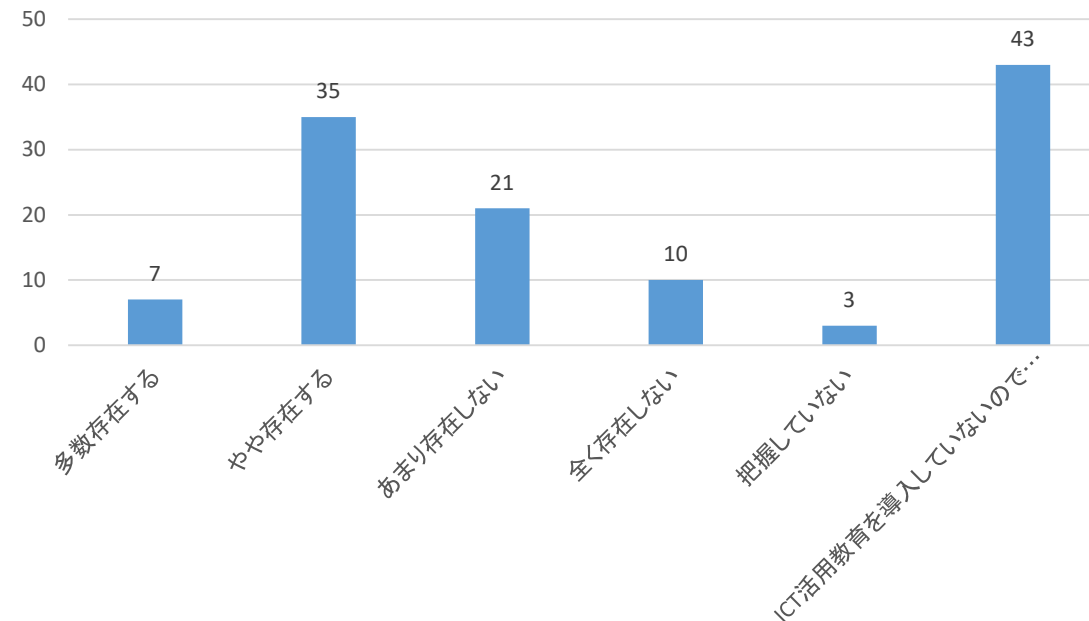
■ ICT活用教育導入の大きな推進阻害要因 (定性的なコメント例)

- ICT教育は、単にICT機器を使う、教科書をデジタル化する、といった段階から、そのICT授業によって学生達の学習成果にいかに関わりつめることができたか、が問われる段階に入ってきていると考えます。しかし、そのいかに成果が上がったかということに対しての具体的な成果例が見られないのが現状です。ICT機器は便利なコミュニケーションツールではありますが、一方では様々な危険性を含んだ機器でもあります。そういった負の面も含めて、このように成果が上がったというしっかりとした検証をしていただければ、今後の導入に対して大きなきっかけとなる様に考えます。
- コンテンツの作成が教員の負担になります。特に実習系の授業担当者は学生の個々の指導におわれ、コンテンツを開発する時間がありません。また、既存のものでは内容が不足したり、高額で学生負担金が増えてしまう。今後の研修には各学科・科目別の具体的なICT活用事例の紹介や模擬授業、コンテンツの開発を実際に行う（グループで作成してみる）などもあるといいと思う。
- 授業形態、授業運営が学科、教員に任されていることと、従来の教育方法に決定的な問題が無いため、ICT活用教育が進まない。ICT活用教育による圧倒的な学習成果が出れば進める。
- 現状の課題は、(1)活用するための施設・設備の充実、初期投資の問題 (2)個々の教員の授業スタイルに適した、コンテンツの開発及び開発スキル (3)全体的なコンセンサスをいかに得るか 等が考えられる。

■ICT活用教育を導入して実際にデメリットが発生したとの回答は全体の約35% (回答数42/119)

その内、『多数存在する』と回答した教務責任者はその内の約17% (回答数7/42) にとどまる

No.	選択肢	回答数
1	多数存在する	7
2	やや存在する	35
3	あまり存在しない	21
4	全く存在しない	10
5	把握していない	3
6	ICT活用教育を導入していないので回答できない	43



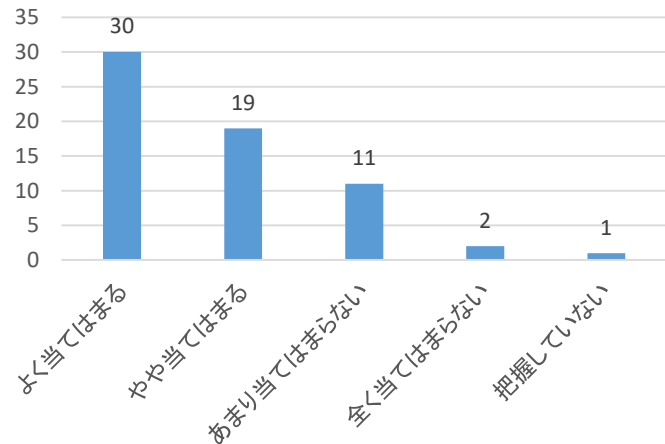
■ICT活用教育を導入しての、大きなデメリット上位3つは以下の通り

(1位) 『コンテンツの作成など教員の負担増』(「よく当てはまる」回答数30、全体の約48%)

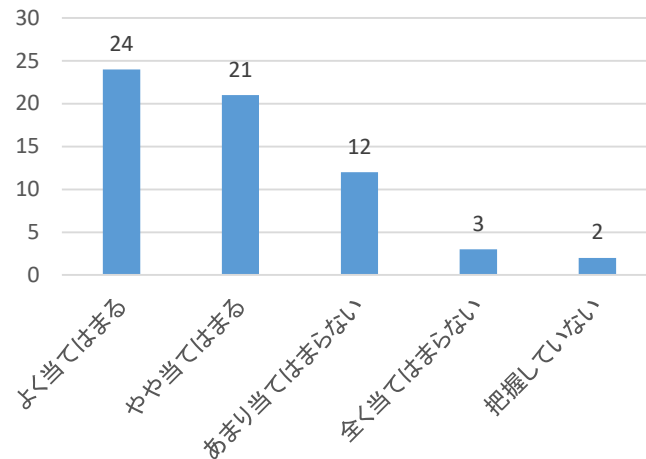
(2位) 『予算コストが増加』(「よく当てはまる」回答数24、全体の約39%)

(3位) 『ICTに不慣れな教職員の対応の負担』(「よく当てはまる」回答数16、全体の約26%)

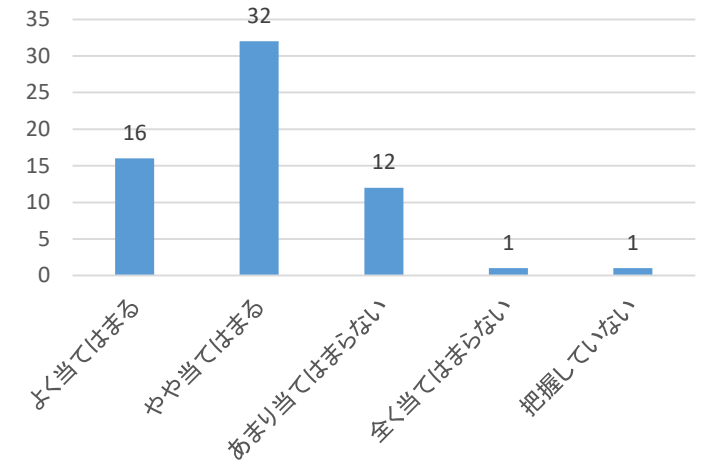
No.	デメリット	
(1)	コンテンツの作成など教員の負担増	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	30
2	やや当てはまる	19
3	あまり当てはまらない	11
4	全く当てはまらない	2
5	把握していない	1



No.	デメリット	
(3)	予算コストが増加	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	24
2	やや当てはまる	21
3	あまり当てはまらない	12
4	全く当てはまらない	3
5	把握していない	2



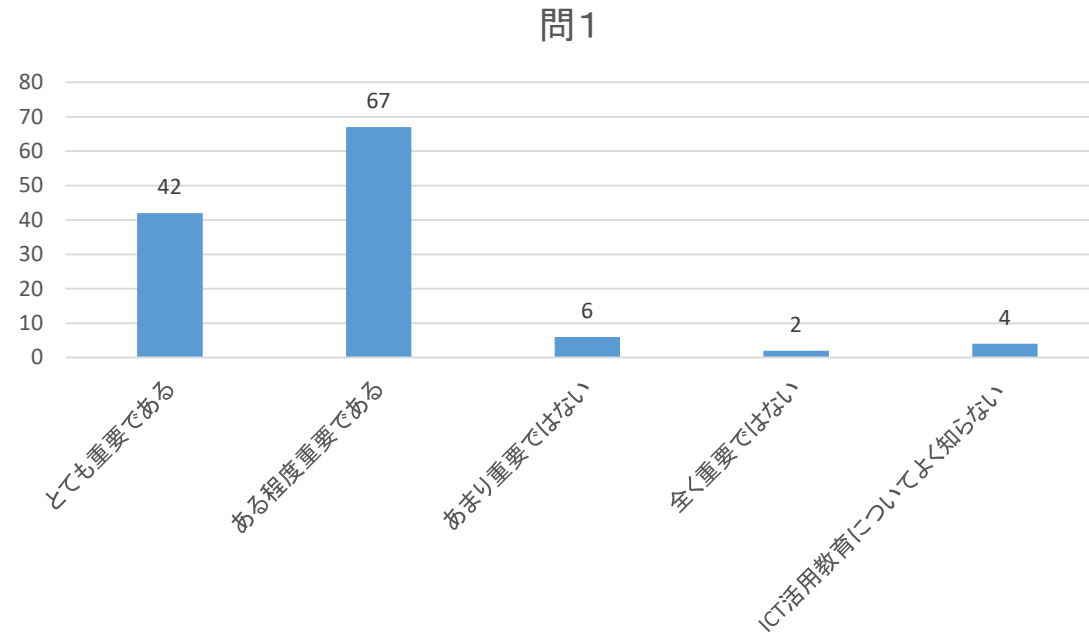
No.	デメリット	
(9)	ICTに不慣れな教職員の対応の負担	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	16
2	やや当てはまる	32
3	あまり当てはまらない	12
4	全く当てはまらない	1
5	把握していない	1



3. 各設問の回答結果

問1. ICT活用教育を学校として重要と考えていますか？該当する番号を記入下さい。

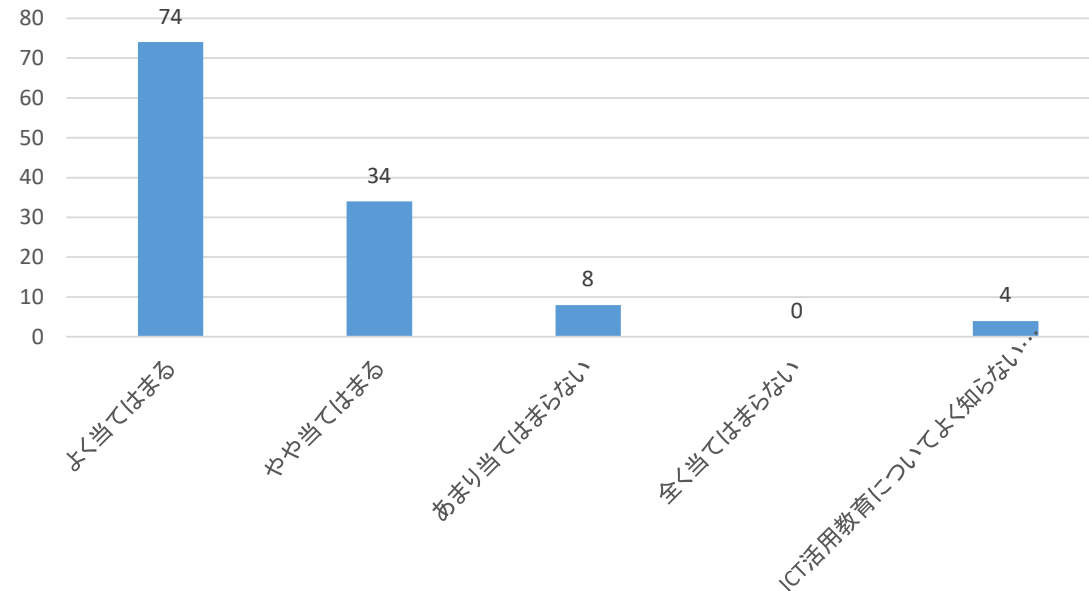
No.	選択肢	回答数
1	とても重要である	42
2	ある程度重要である	67
3	あまり重要ではない	6
4	全く重要ではない	2
5	ICT活用教育についてよく知らない	4



問2. ICT活用教育に期待している効果は何ですか？以下(1)～(17)の各項目について、該当する番号（1～5）を記入下さい。

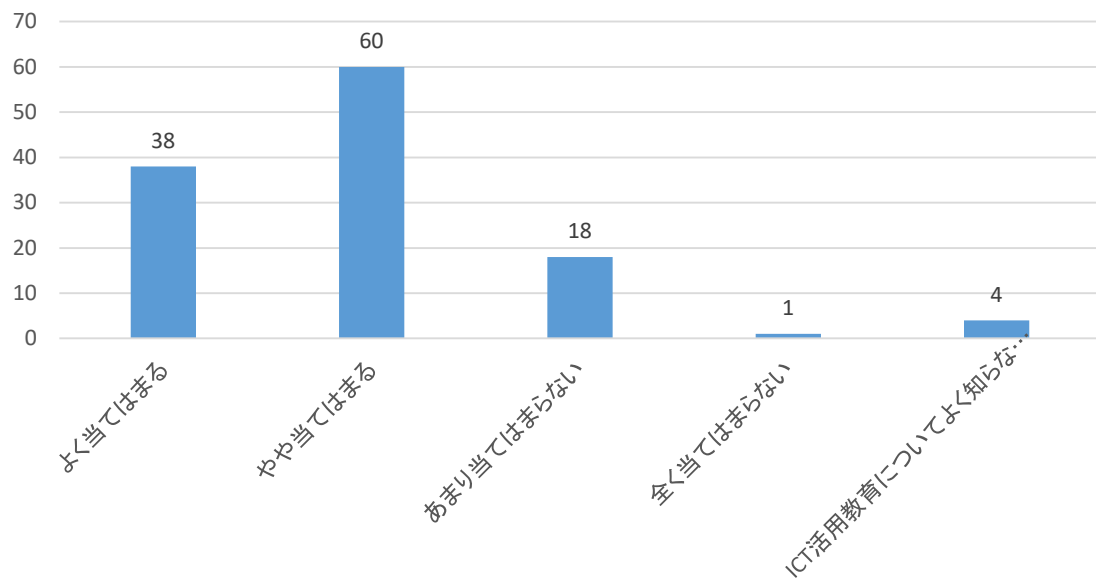
No.	期待している効果	
(1)	学生に対してより便利な環境の提供	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	74
2	やや当てはまる	34
3	あまり当てはまらない	8
4	全く当てはまらない	0
5	ICT活用教育についてよく知らないので回答できない	4

問2－(1)



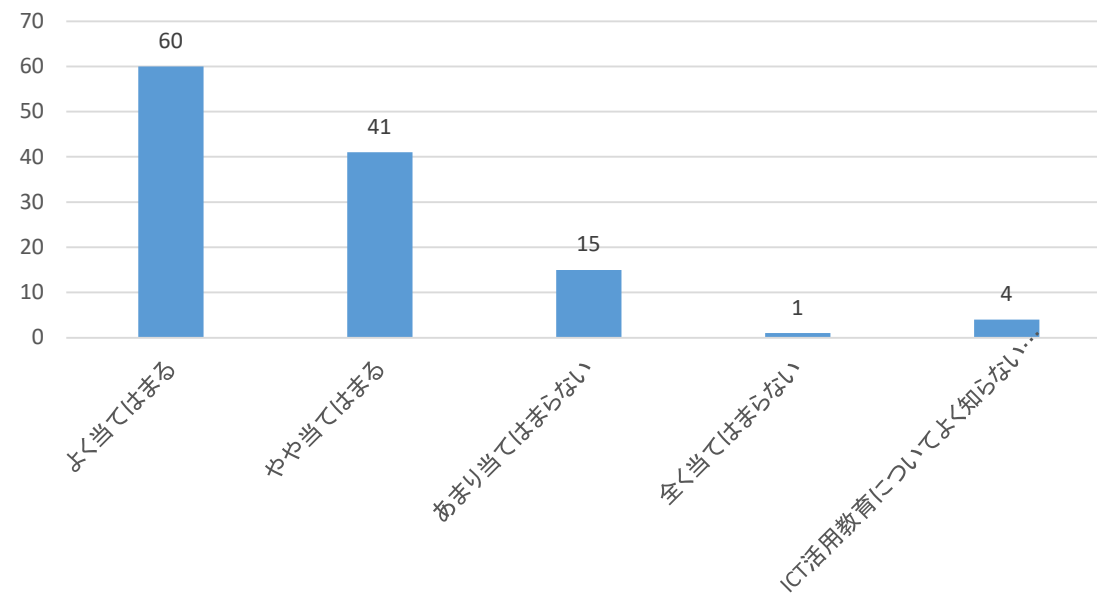
No.	期待している効果	
(2)	学生の学習意欲の向上	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	38
2	やや当てはまる	60
3	あまり当てはまらない	18
4	全く当てはまらない	1
5	ICT活用教育についてよく知らないので回答できない	4

問2－(2)



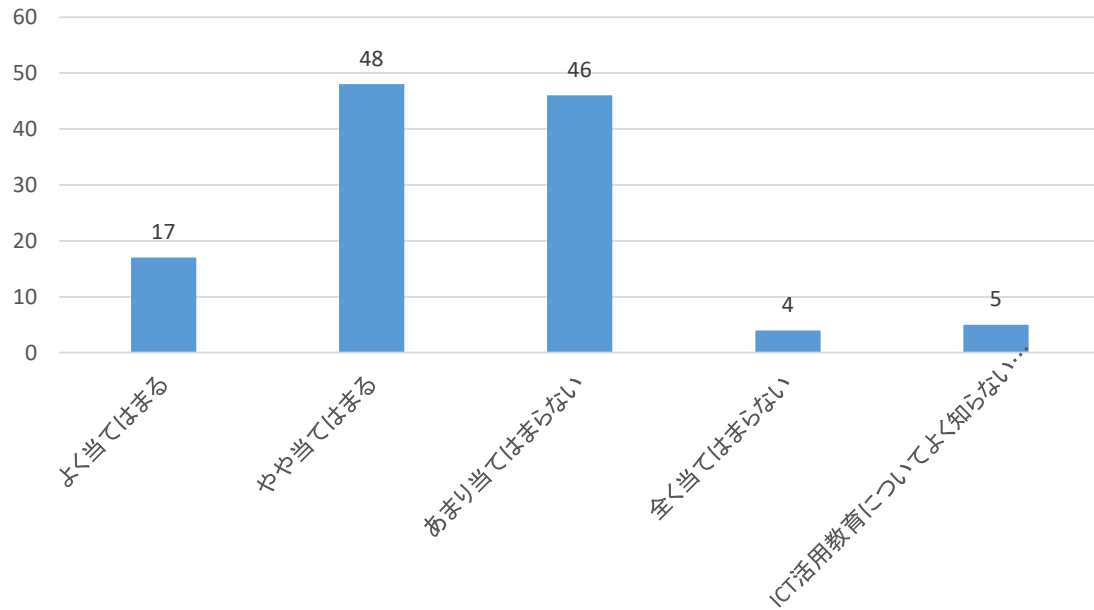
No.	期待している効果	
(3)	学生の学習効果の向上	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	60
2	やや当てはまる	41
3	あまり当てはまらない	15
4	全く当てはまらない	1
5	ICT活用教育についてよく知らないので回答できない	4

問2－(3)



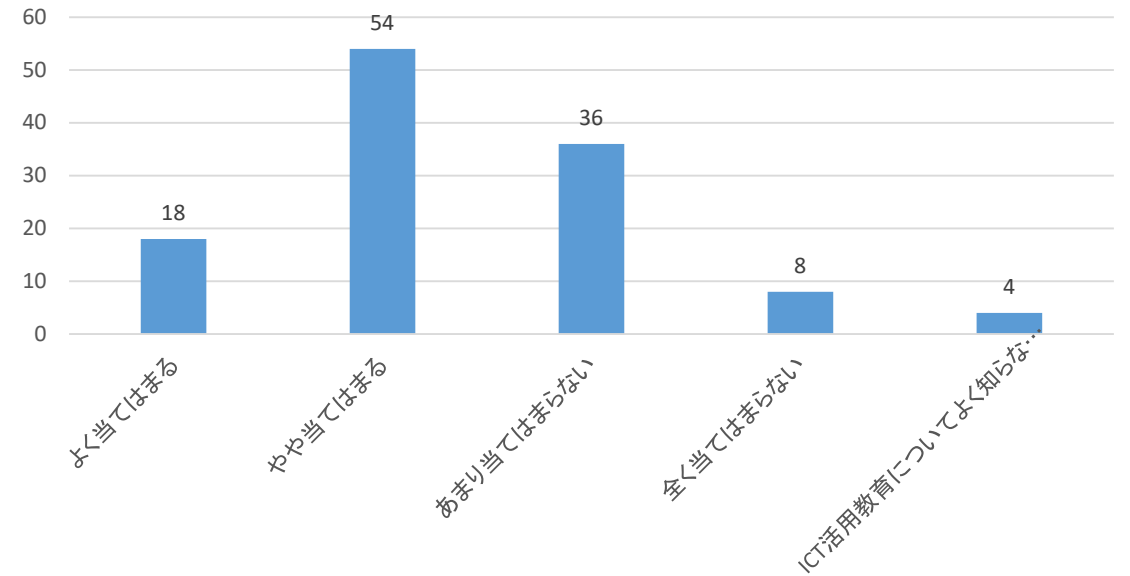
No.	期待している効果	
(4)	学生の修了率の向上	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	17
2	やや当てはまる	48
3	あまり当てはまらない	46
4	全く当てはまらない	4
5	ICT活用教育についてよく知らないので回答できない	5

問2－(4)



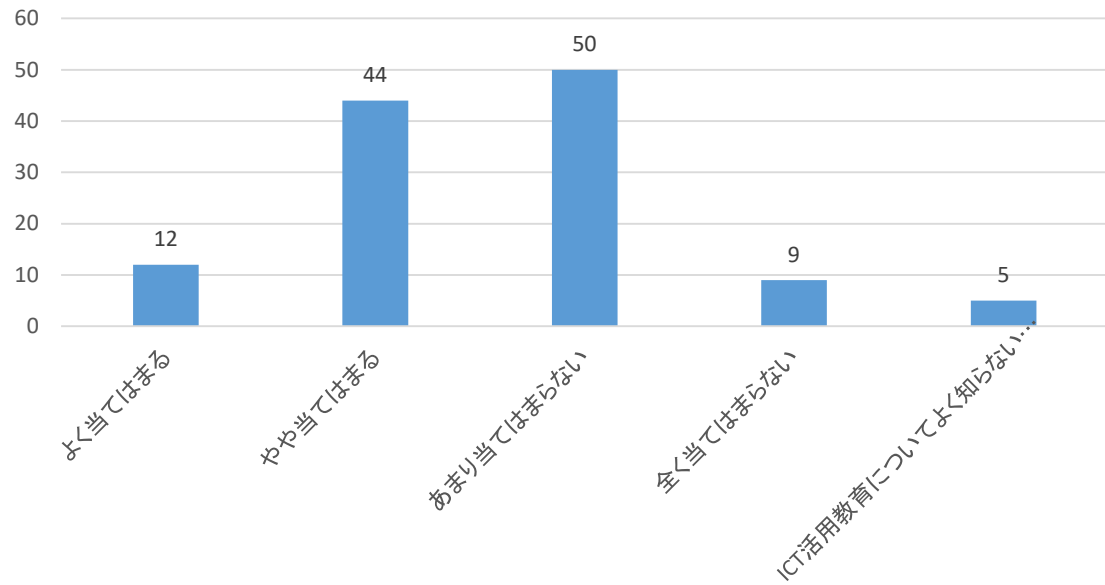
No.	期待している効果	
(5)	専修学校の競争力や知名度の向上	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	18
2	やや当てはまる	54
3	あまり当てはまらない	36
4	全く当てはまらない	8
5	ICT活用教育についてよく知らないので回答できない	4

問2－(5)



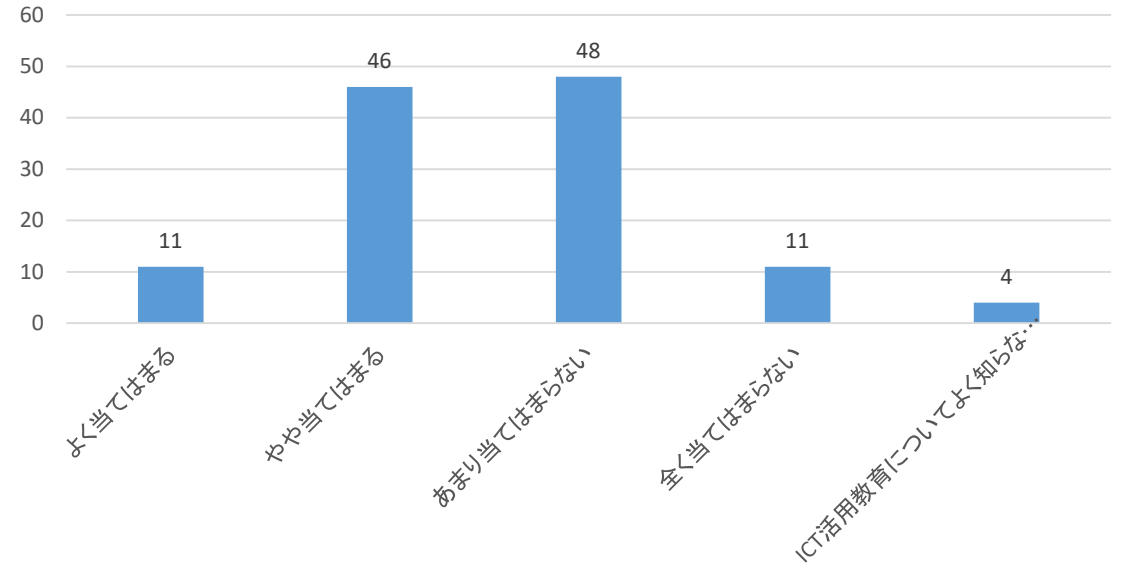
No.	期待している効果	
(6)	受験生・留学生の獲得	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	12
2	やや当てはまる	44
3	あまり当てはまらない	50
4	全く当てはまらない	9
5	ICT活用教育についてよく知らないので回答できない	5

問2-(6)



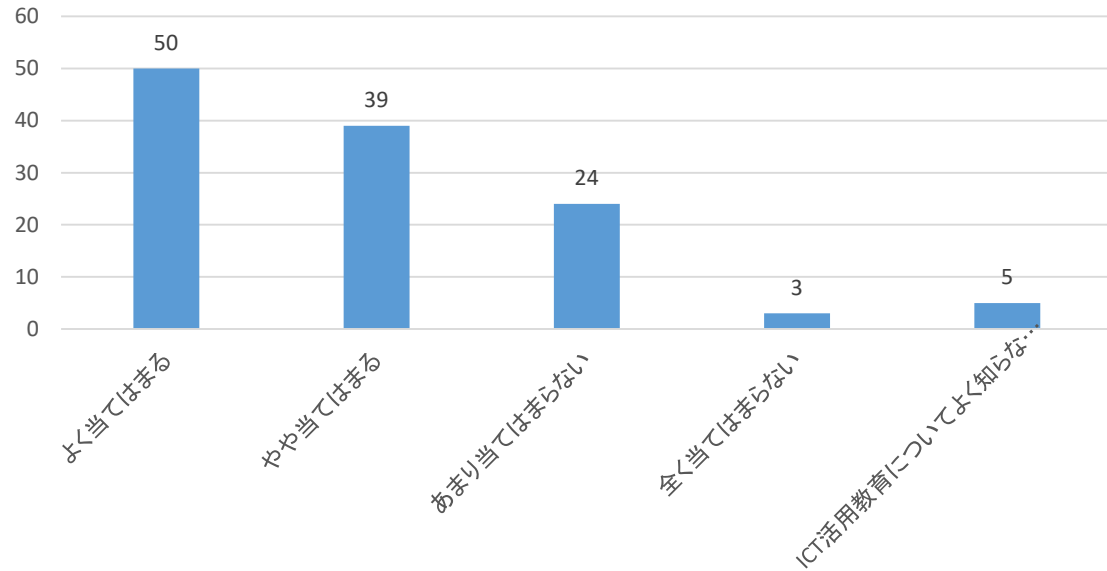
No.	期待している効果	
(7)	学生市場の拡大	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	11
2	やや当てはまる	46
3	あまり当てはまらない	48
4	全く当てはまらない	11
5	ICT活用教育についてよく知らないので回答できない	4

問2-(7)



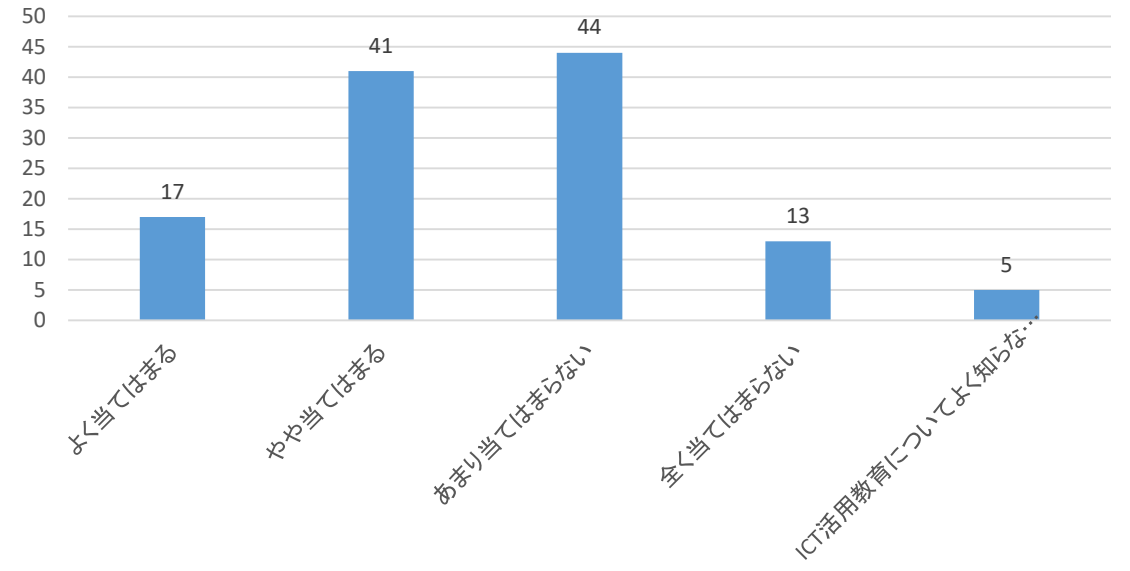
No.	期待している効果	
(8)	教職員の作業効率化	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	50
2	やや当てはまる	39
3	あまり当てはまらない	24
4	全く当てはまらない	3
5	ICT活用教育についてよく知らないので回答できない	5

問2-(8)



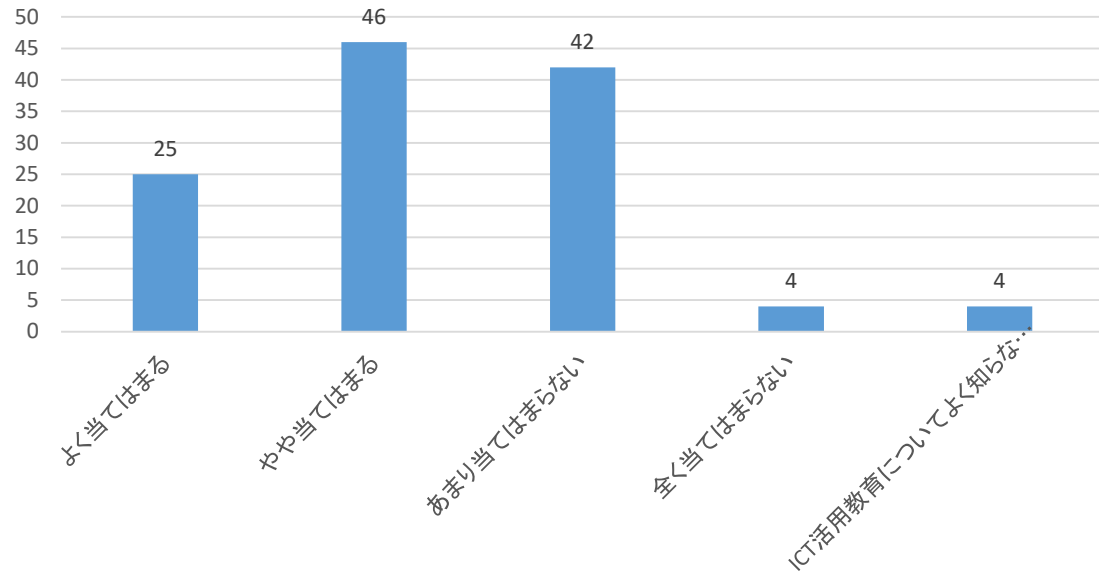
No.	期待している効果	
(9)	予算コスト削減	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	17
2	やや当てはまる	41
3	あまり当てはまらない	44
4	全く当てはまらない	13
5	ICT活用教育についてよく知らないので回答できない	5

問2-(9)



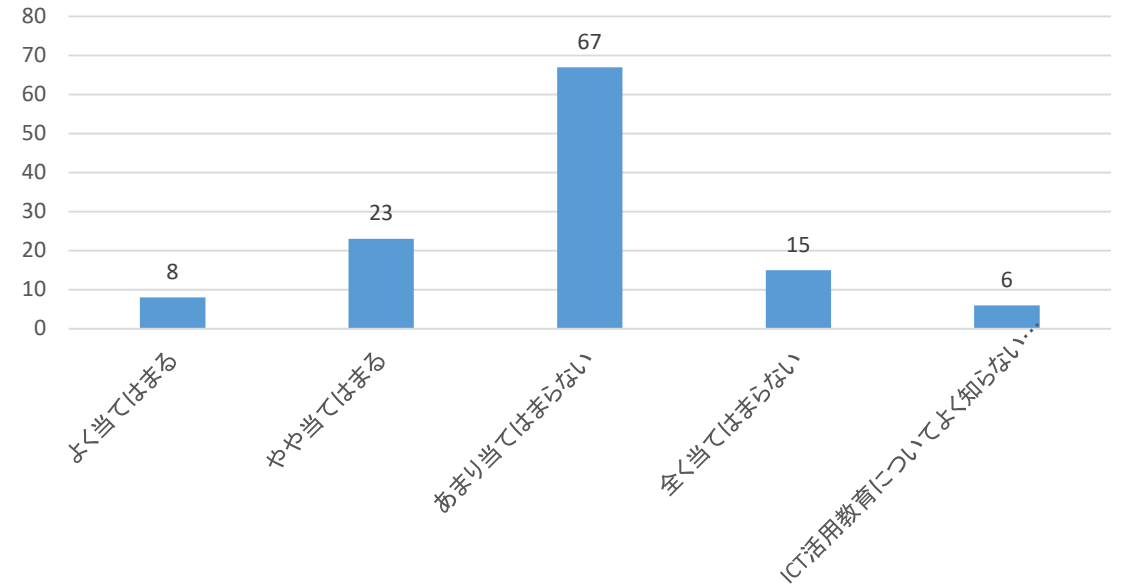
No.	期待している効果	
(10)	教員の質の向上	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	25
2	やや当てはまる	46
3	あまり当てはまらない	42
4	全く当てはまらない	4
5	ICT活用教育についてよく知らないので回答できない	4

問2-(10)



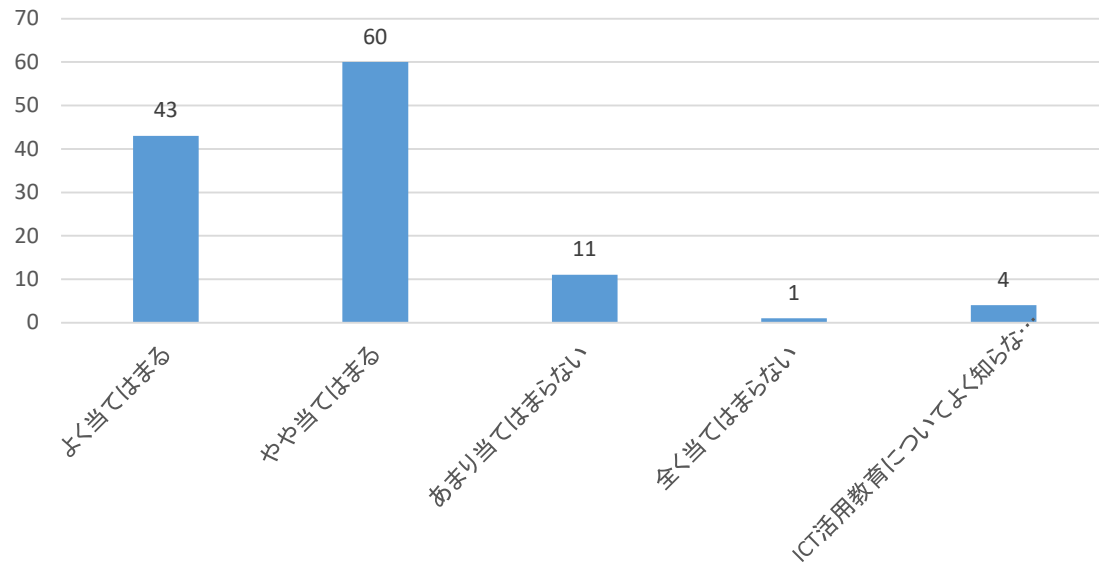
No.	期待している効果	
(11)	幅広い教員獲得	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	8
2	やや当てはまる	23
3	あまり当てはまらない	67
4	全く当てはまらない	15
5	ICT活用教育についてよく知らないので回答できない	6

問2-(11)



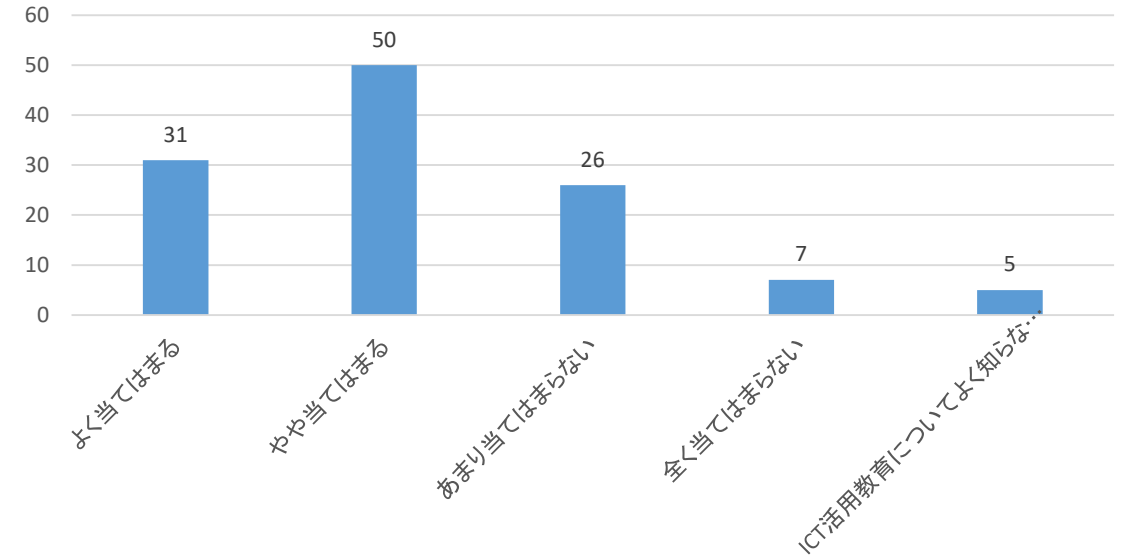
No.	期待している効果	
(12)	外部の有用な教材・コンテンツを活用	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	43
2	やや当てはまる	60
3	あまり当てはまらない	11
4	全く当てはまらない	1
5	ICT活用教育についてよく知らないので回答できない	4

問2-(12)



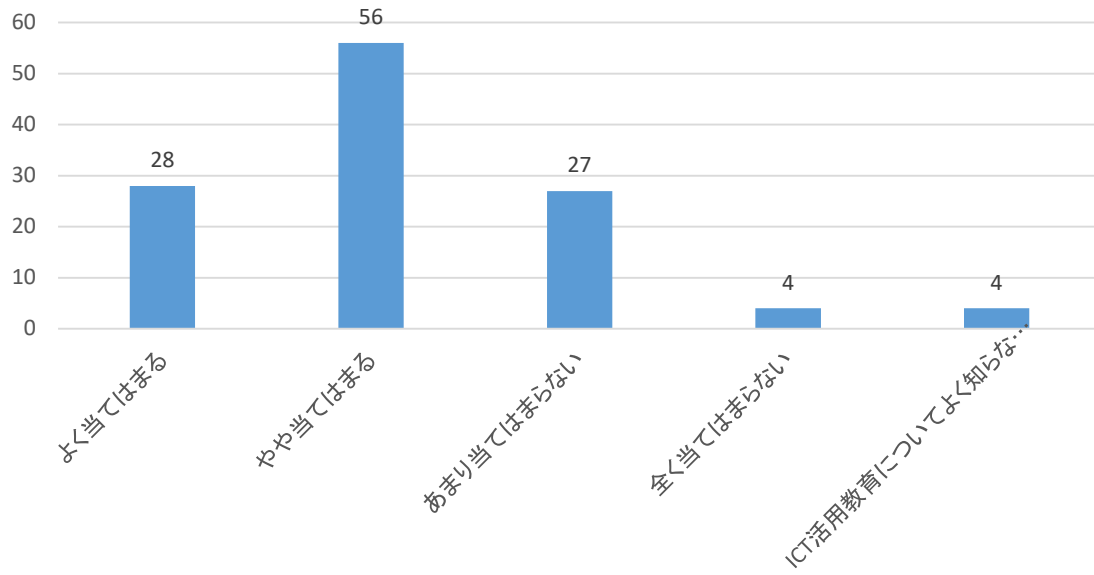
No.	期待している効果	
(13)	学外にいる学生に対する学習リソースへのアクセスの向上	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	31
2	やや当てはまる	50
3	あまり当てはまらない	26
4	全く当てはまらない	7
5	ICT活用教育についてよく知らないので回答できない	5

問2-(13)



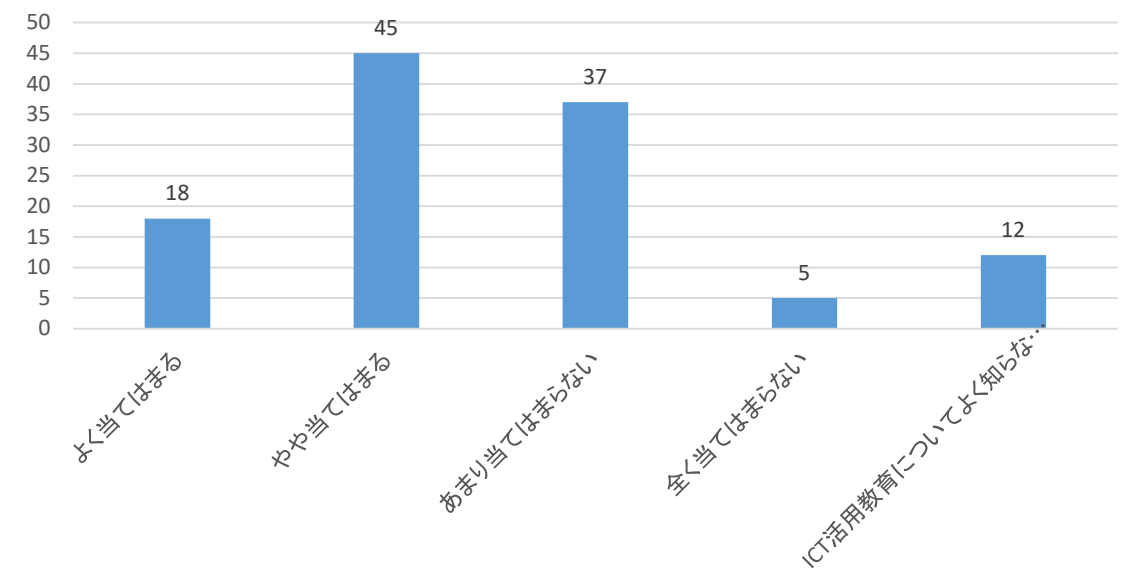
No.	期待している効果	
(14)	アクティブラーニング型授業での利用	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	28
2	やや当てはまる	56
3	あまり当てはまらない	27
4	全く当てはまらない	4
5	ICT活用教育についてよく知らないので回答できない	4

問2-(14)



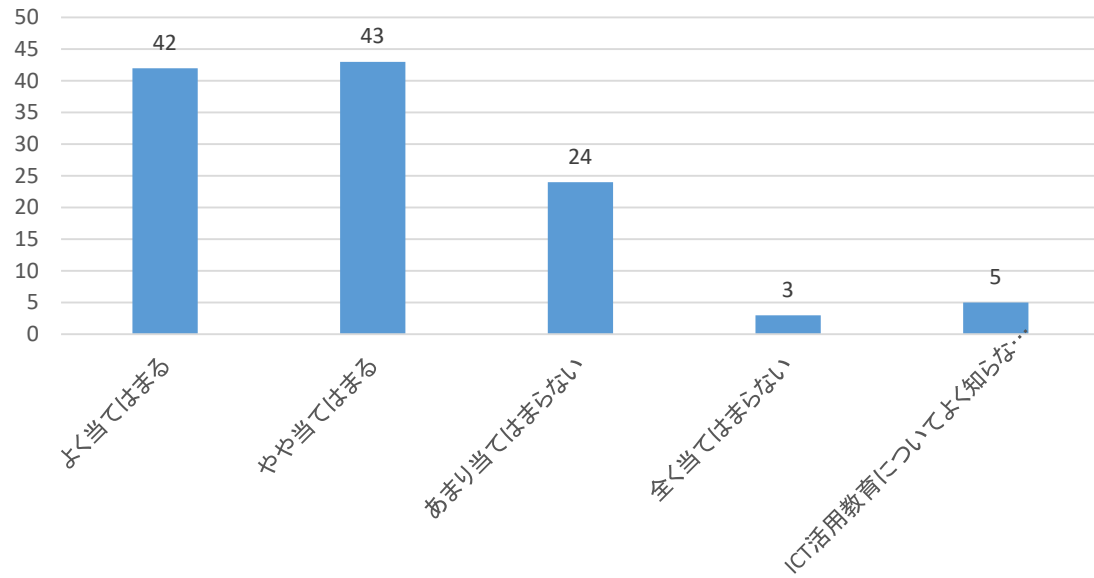
No.	期待している効果	
(15)	PBL型授業での利用	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	18
2	やや当てはまる	45
3	あまり当てはまらない	37
4	全く当てはまらない	5
5	ICT活用教育についてよく知らないので回答できない	12

問12-(15)



No.	期待している効果	
(16)	授業外学習時間の向上	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	42
2	やや当てはまる	43
3	あまり当てはまらない	24
4	全く当てはまらない	3
5	ICT活用教育についてよく知らないので回答できない	5

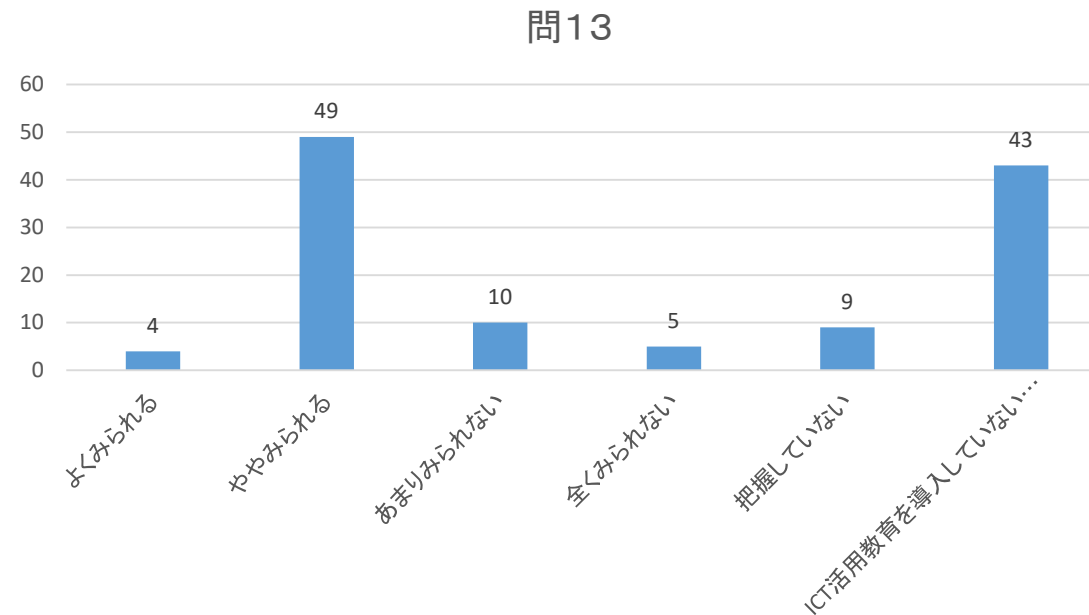
問2ー(16)



No.	期待している効果
(17)	〔その他 ※自由記述〕
	<p>ICTそのものに過度な期待をかけることは教育的センスの無さから生じる幻想。そもそも教育は第一に内容が肝心であることから、ICTそのものではなく、ICTに伴って外部コンテンツを比較的安価に導入できるならば、特に地域の専門学校にとってはメリットが生じることも考えられる。ただし、安価であることが条件になる。</p>

問3. ICT活用教育を導入して実際に効果は得られましたか？該当する番号を記入下さい。
導入していない場合は、「ICT活用教育を導入していないので回答できない」を選択下さい。

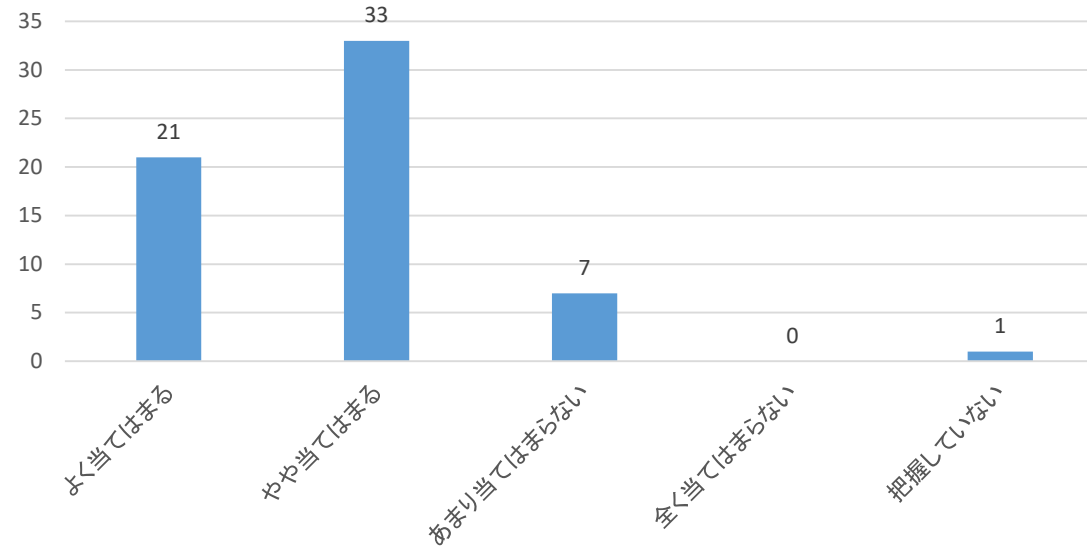
No.	選択肢	回答数
1	よくみられる	4
2	ややみられる	49
3	あまりみられない	10
4	全くみられない	5
5	把握していない	9
6	ICT活用教育を導入していないので回答できない	43



問4.問3で選択肢「よくみられる/ややみられる/あまりみられない」のいずれかを回答された方にお聞きします。得られた効果は何ですか？以下(1)～(17)の各項目について、該当する番号（1～5）を記入下さい。

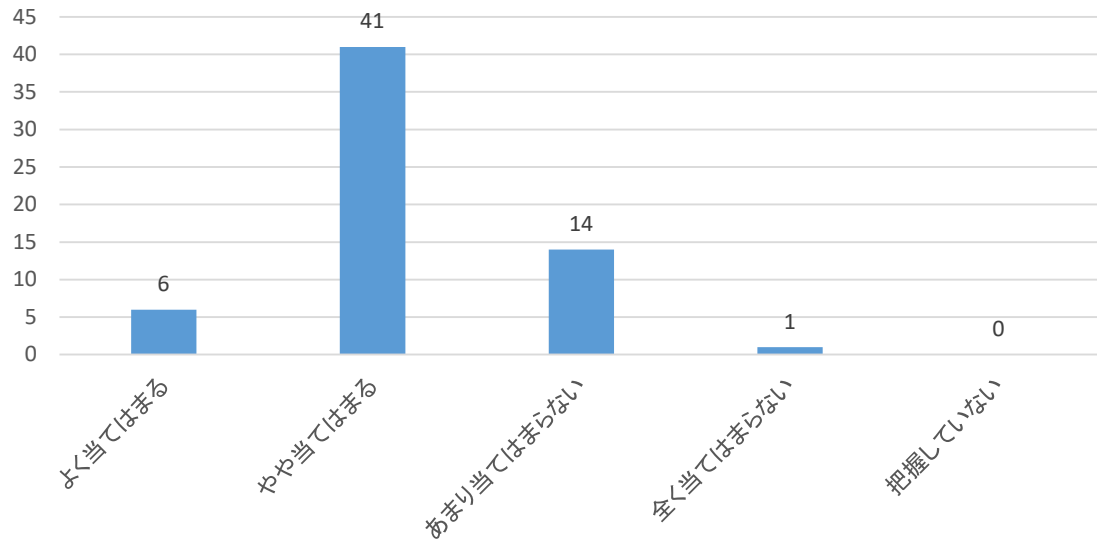
No.	得られた効果	
(1)	学生に対してより便利な環境の提供	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	21
2	やや当てはまる	33
3	あまり当てはまらない	7
4	全く当てはまらない	0
5	把握していない	1

問4－(1)



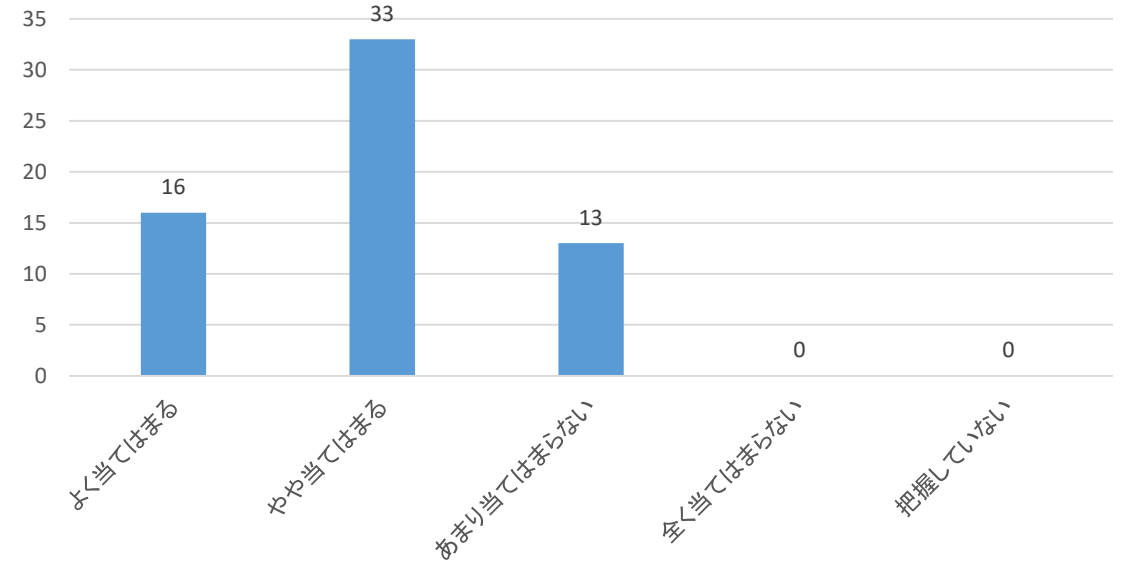
No.	得られた効果	
(2)	学生の学習意欲の向上	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	6
2	やや当てはまる	41
3	あまり当てはまらない	14
4	全く当てはまらない	1
5	把握していない	0

問4-(2)



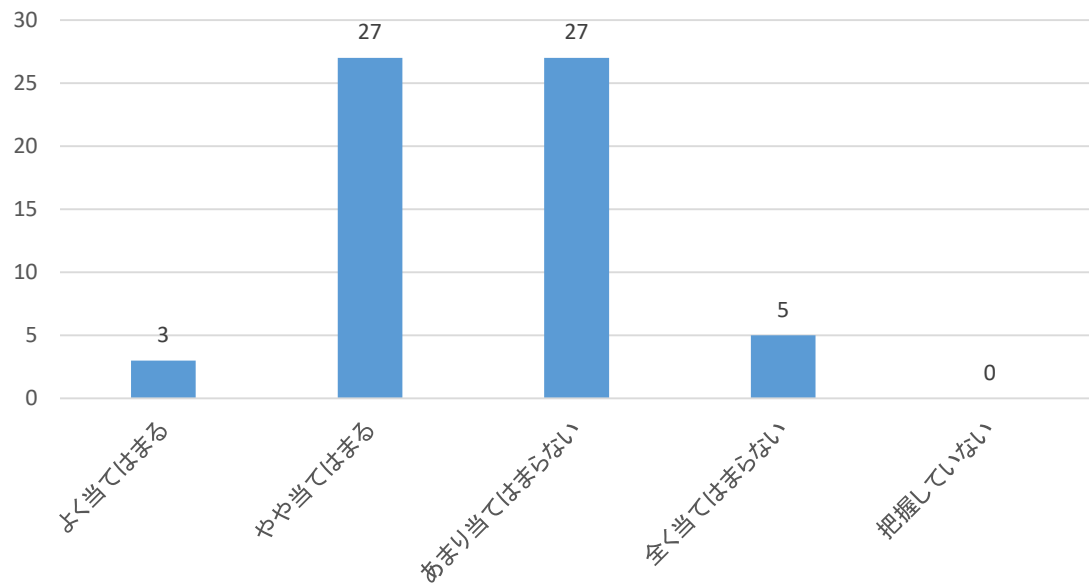
No.	得られた効果	
(3)	学生の学習効果の向上	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	16
2	やや当てはまる	33
3	あまり当てはまらない	13
4	全く当てはまらない	0
5	把握していない	0

問4-(3)



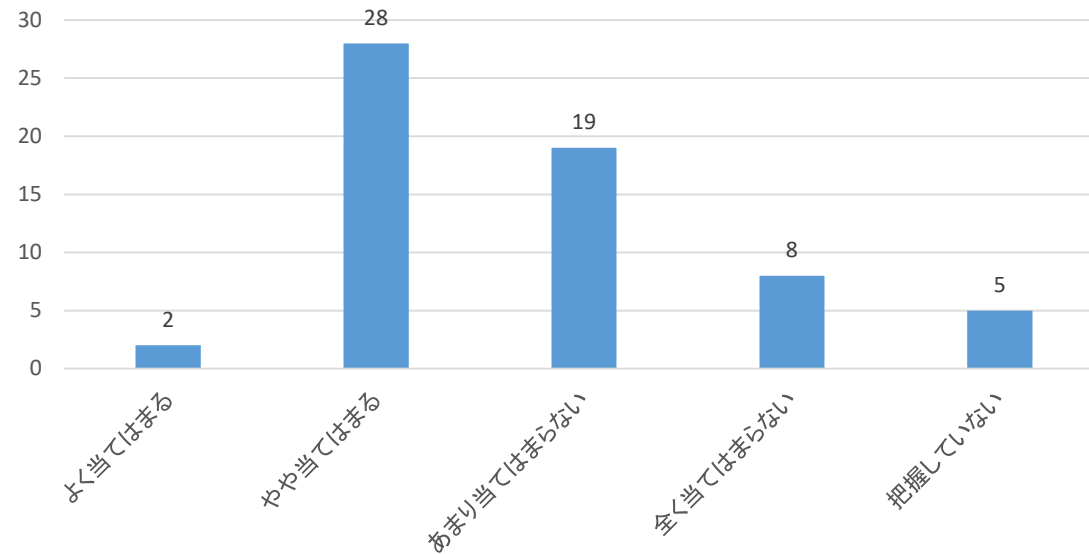
No.	得られた効果	
(4)	学生の修了率の向上	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	3
2	やや当てはまる	27
3	あまり当てはまらない	27
4	全く当てはまらない	5
5	把握していない	0

問4-(4)



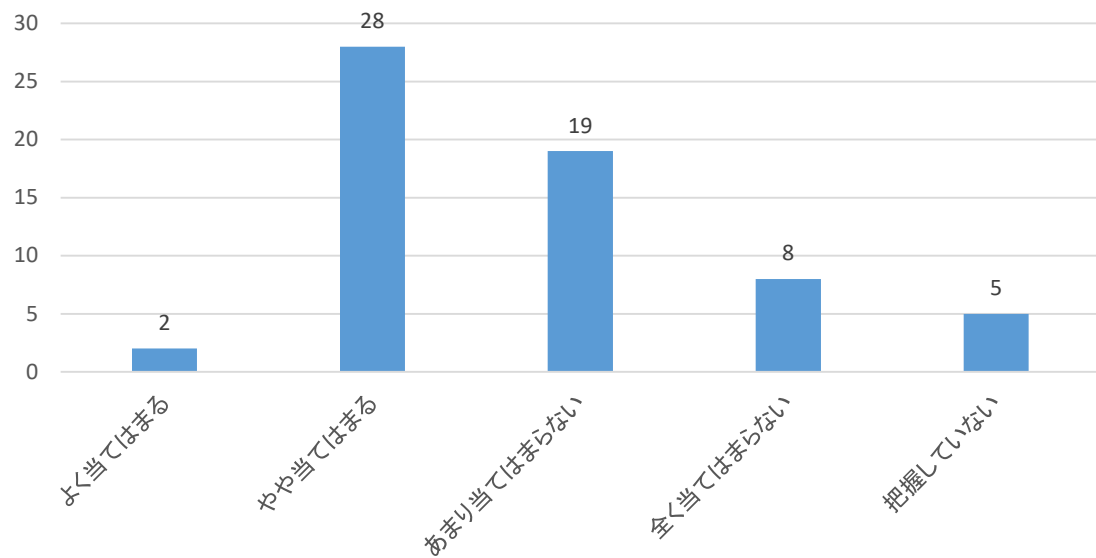
No.	得られた効果	
(5)	専修学校の競争力や知名度の向上	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	2
2	やや当てはまる	28
3	あまり当てはまらない	19
4	全く当てはまらない	8
5	把握していない	5

問4-(5)



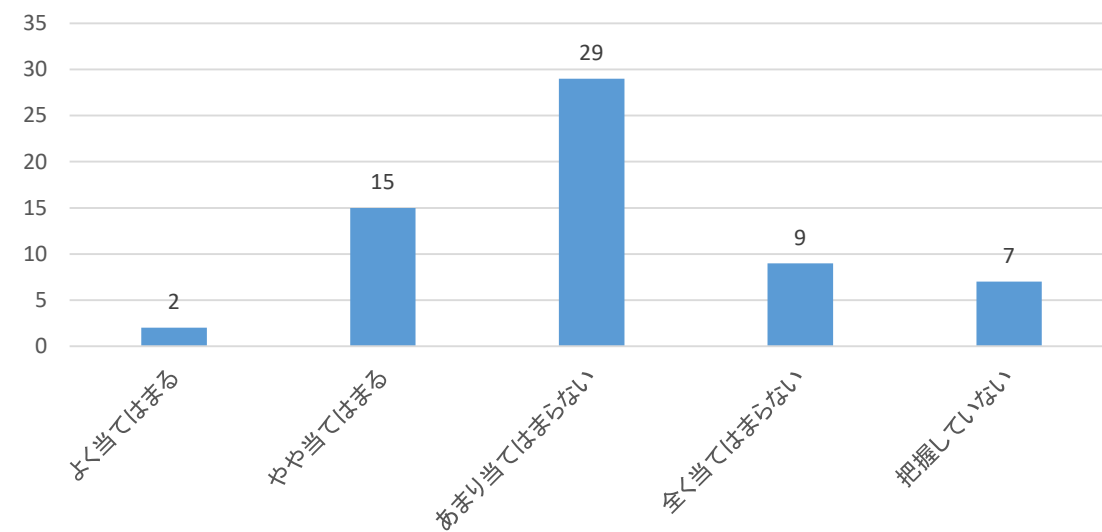
No.	得られた効果	
(5)	専修学校の競争力や知名度の向上	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	2
2	やや当てはまる	28
3	あまり当てはまらない	19
4	全く当てはまらない	8
5	把握していない	5

問4-(5)



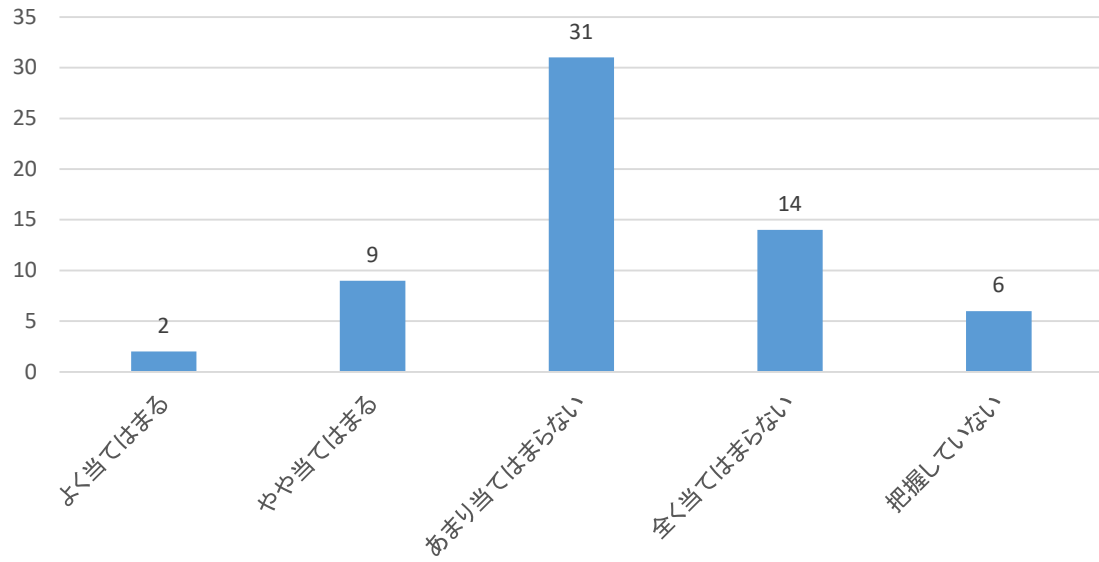
No.	得られた効果	
(6)	受験生・留学生の獲得	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	2
2	やや当てはまる	15
3	あまり当てはまらない	29
4	全く当てはまらない	9
5	把握していない	7

問4-(6)



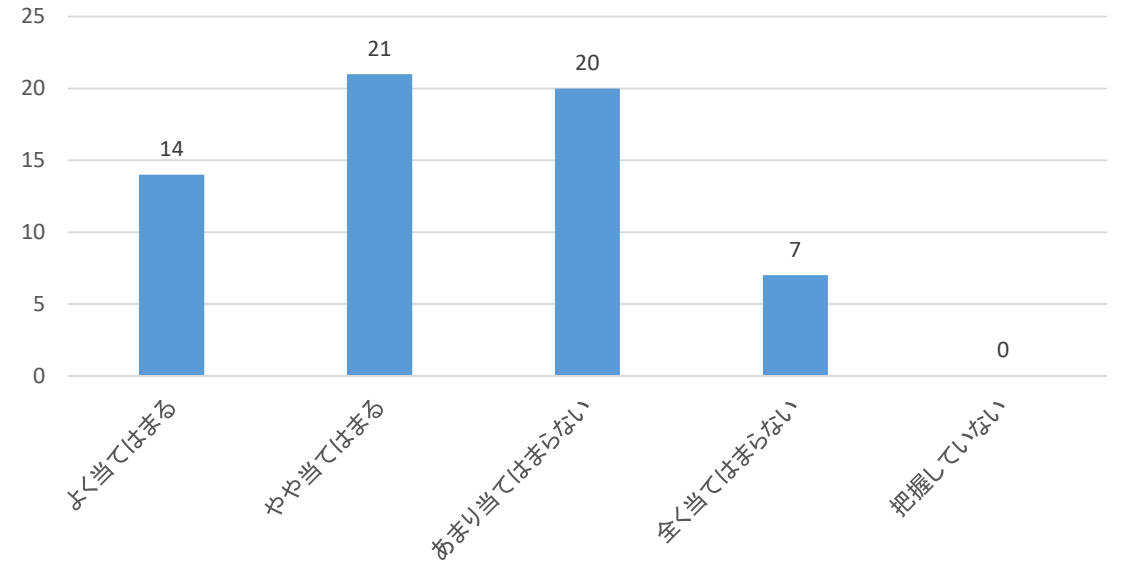
No.	得られた効果	
(7)	学生市場の拡大	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	2
2	やや当てはまる	9
3	あまり当てはまらない	31
4	全く当てはまらない	14
5	把握していない	6

問2-(7)



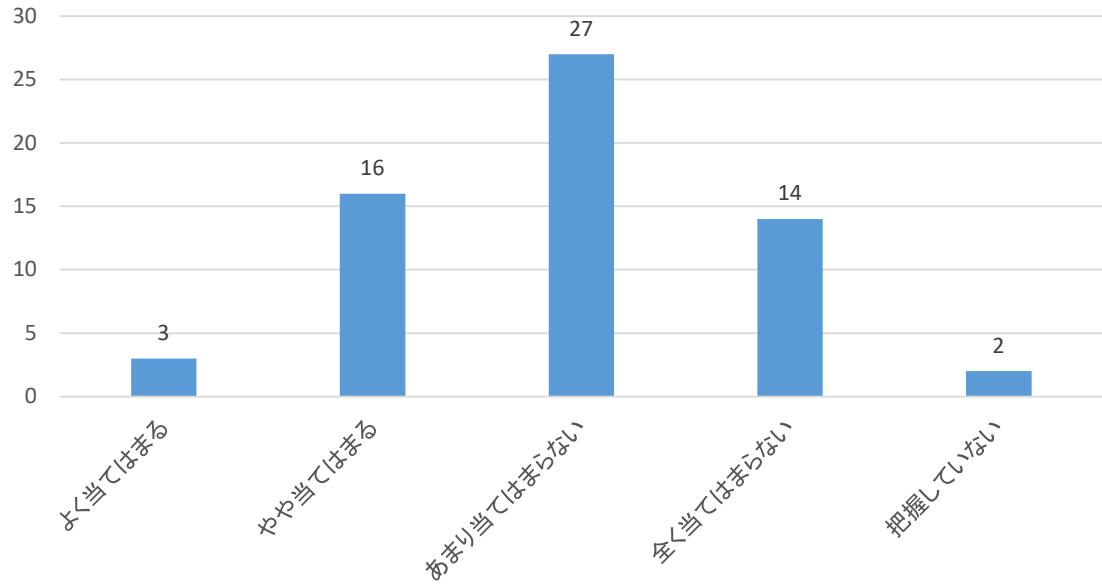
No.	得られた効果	
(8)	教職員の作業効率化	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	14
2	やや当てはまる	21
3	あまり当てはまらない	20
4	全く当てはまらない	7
5	把握していない	0

問4-(8)



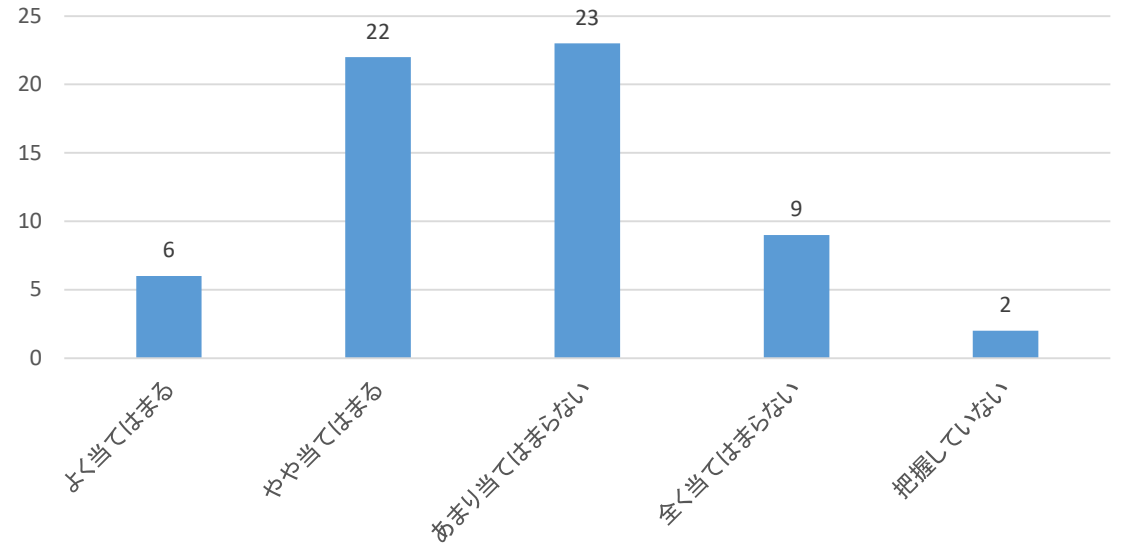
No.	得られた効果	
(9)	予算コスト削減	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	3
2	やや当てはまる	16
3	あまり当てはまらない	27
4	全く当てはまらない	14
5	把握していない	2

問4－(9)



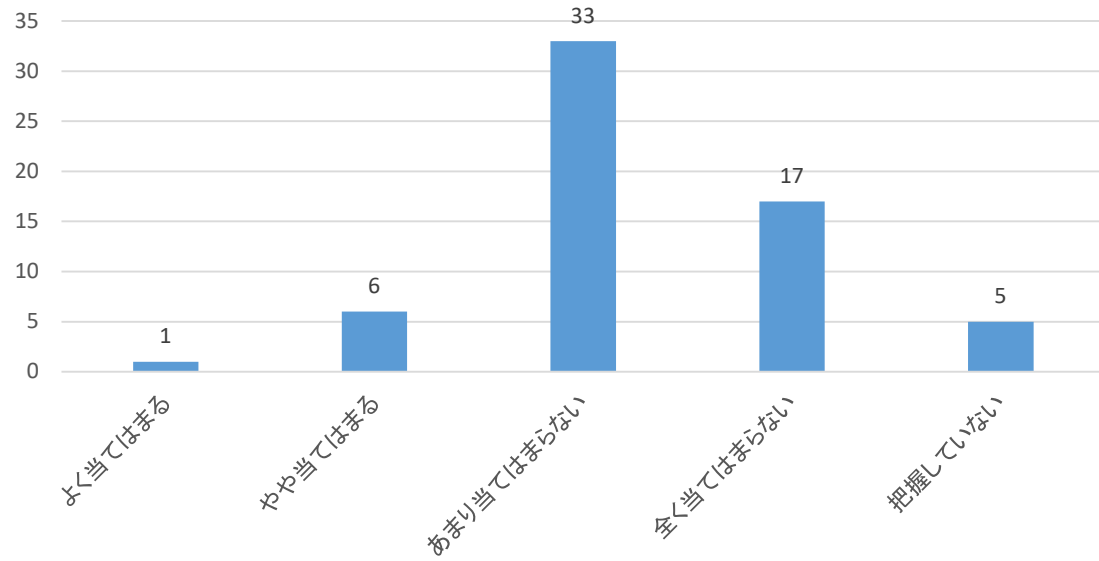
No.	得られた効果	
(10)	教員の質の向上	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	6
2	やや当てはまる	22
3	あまり当てはまらない	23
4	全く当てはまらない	9
5	把握していない	2

問4－(10)



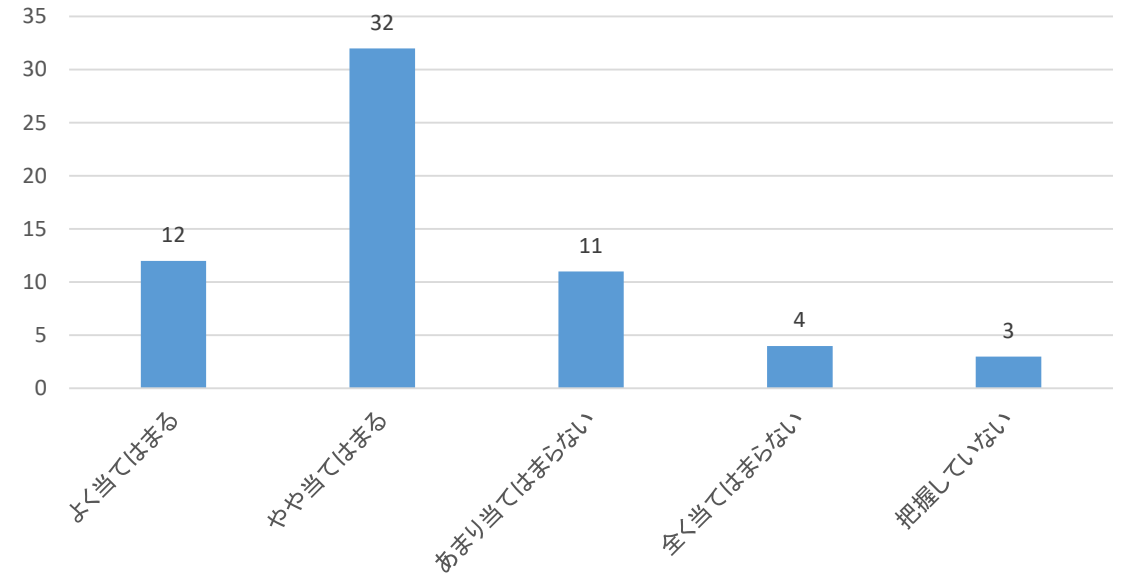
No.	得られた効果	
(11)	幅広い教員獲得	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	1
2	やや当てはまる	6
3	あまり当てはまらない	33
4	全く当てはまらない	17
5	把握していない	5

問4-(11)



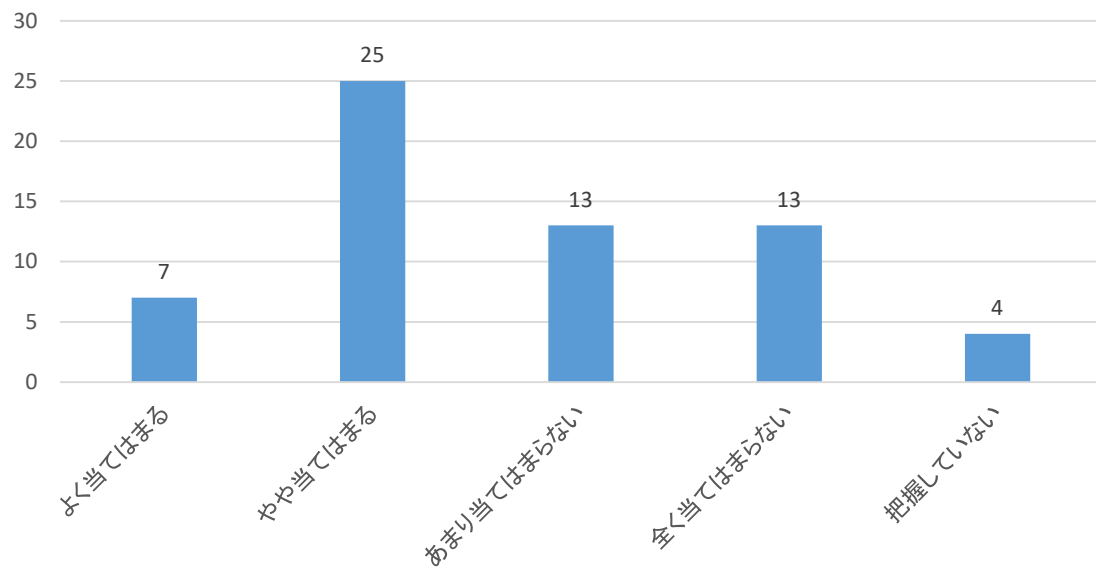
No.	得られた効果	
(12)	外部の有用な教材・コンテンツを活用	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	12
2	やや当てはまる	32
3	あまり当てはまらない	11
4	全く当てはまらない	4
5	把握していない	3

問4-(12)



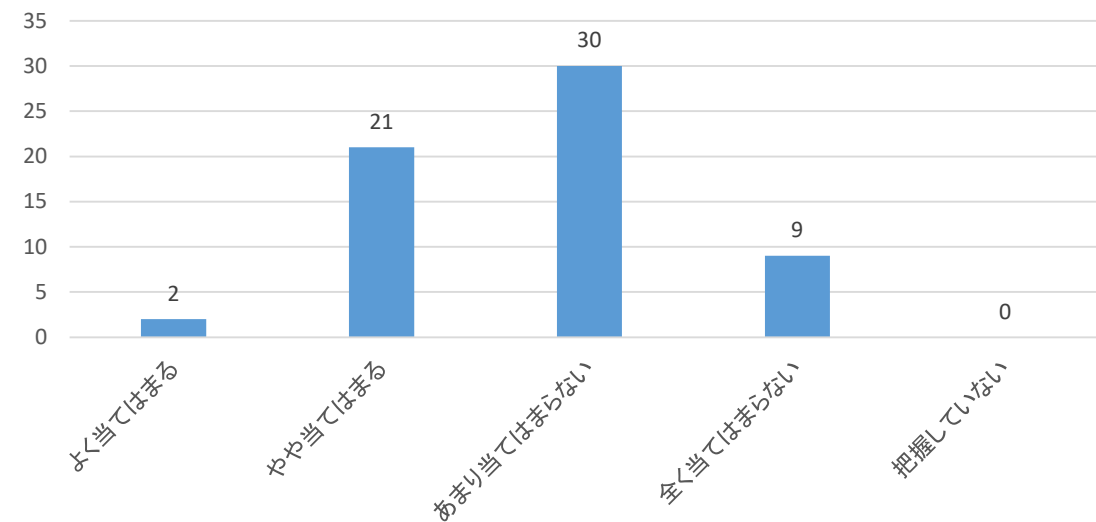
No.	得られた効果	
(13)	学外にいる学生に対する学習リソースへのアクセスの向上	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	7
2	やや当てはまる	25
3	あまり当てはまらない	13
4	全く当てはまらない	13
5	把握していない	4

問2-(13)



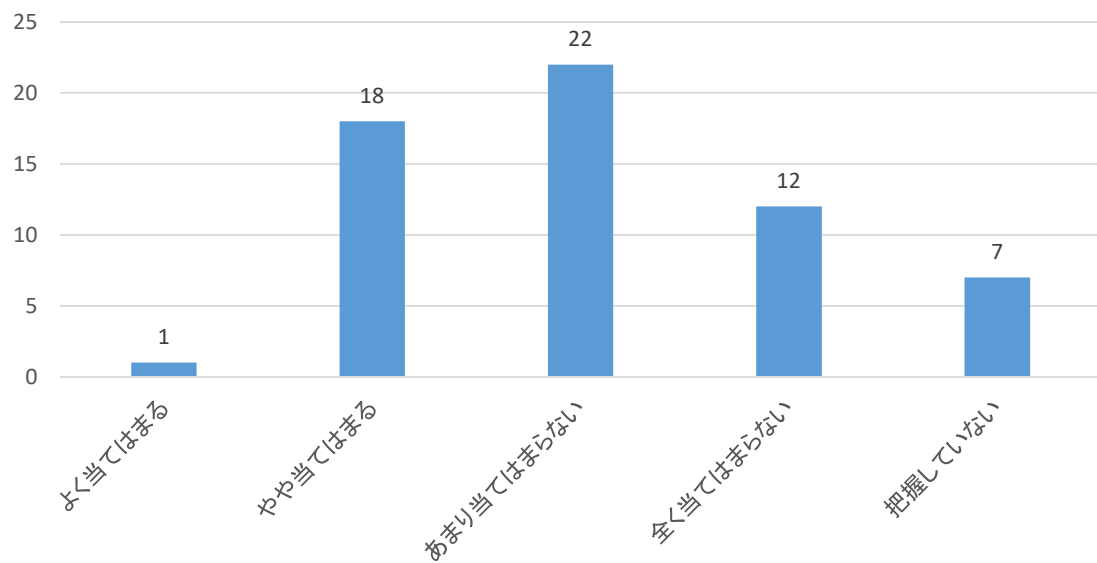
No.	得られた効果	
(14)	アクティブラーニング型授業での利用	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	2
2	やや当てはまる	21
3	あまり当てはまらない	30
4	全く当てはまらない	9
5	把握していない	0

問4-(14)



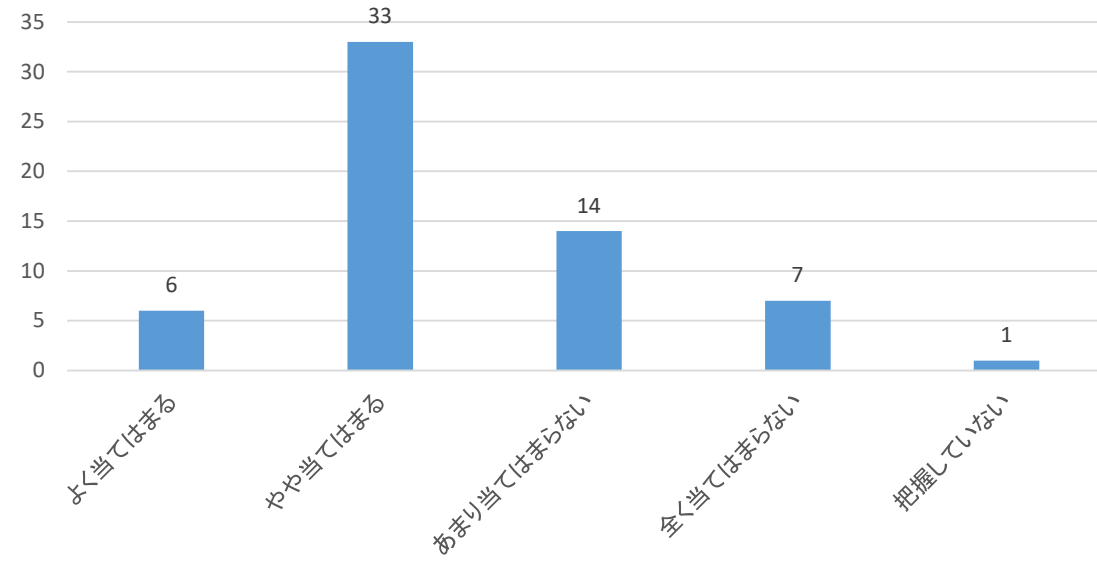
No.	得られた効果	
(15)	PBL型授業での利用	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	1
2	やや当てはまる	18
3	あまり当てはまらない	22
4	全く当てはまらない	12
5	把握していない	7

問4-(15)



No.	得られた効果	
(16)	授業外学習時間の向上	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	6
2	やや当てはまる	33
3	あまり当てはまらない	14
4	全く当てはまらない	7
5	把握していない	1

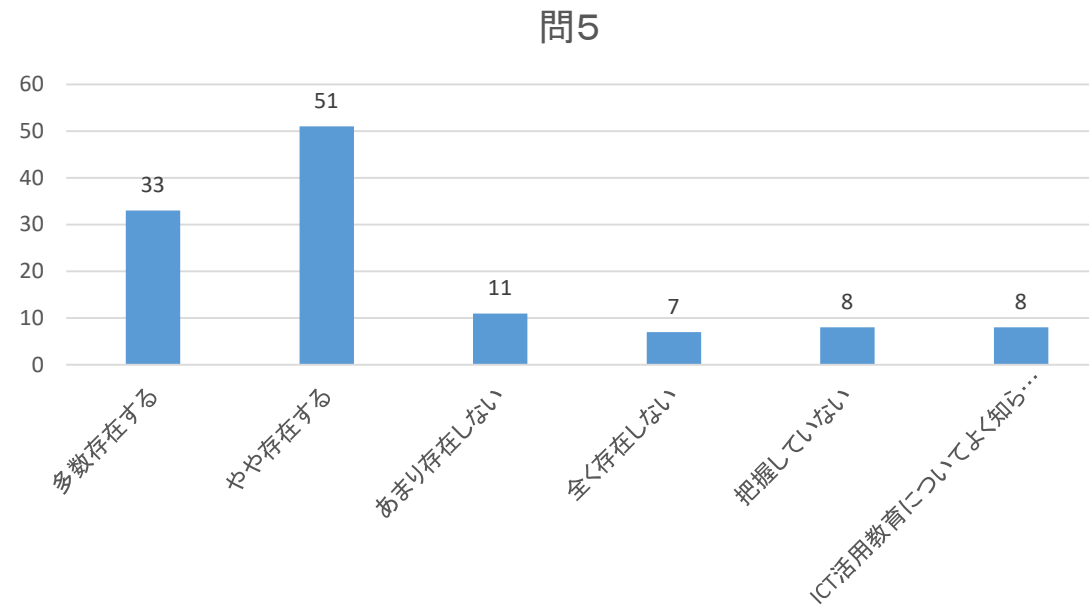
問4-(16)



No.	得られた効果
(17)	〔その他 ※自由記述〕
ICT活用教育を導入しても、その効果を適切に評価するには、ある程度時間が必要である。現在は、効果を検証しているところである。	

問5. 「ICT活用教育」導入や推進を妨げる阻害要因は存在しますか？該当する番号を記入下さい。

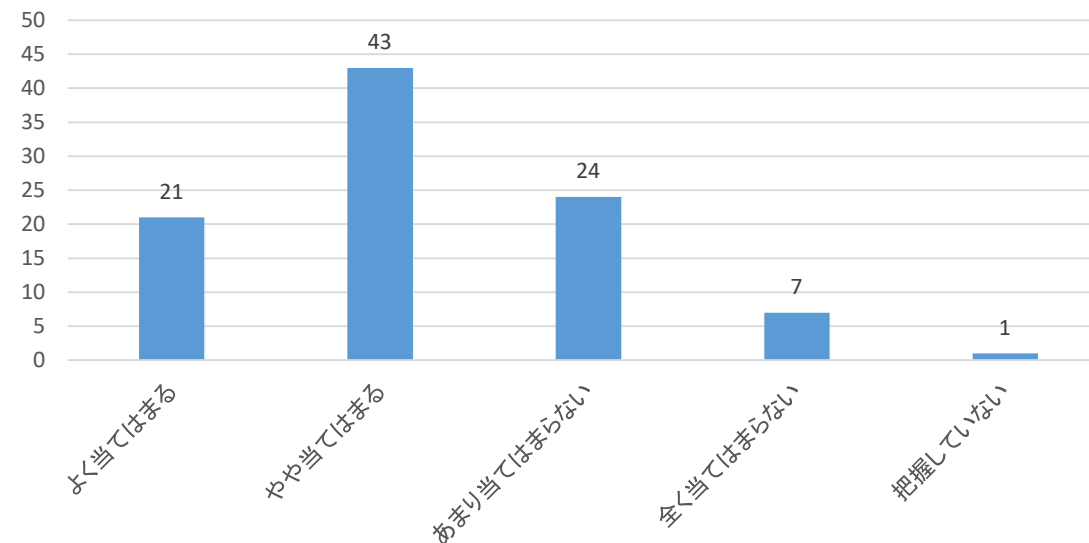
No.	選択肢	回答数
1	多数存在する	33
2	やや存在する	51
3	あまり存在しない	11
4	全く存在しない	7
5	把握していない	8
6	ICT活用教育についてよく知らないので回答できない	8



問6. 問5で選択肢「多数存在する/やや存在する/あまり存在しない」のいずれかを回答された方にお聞きします。その阻害要因は何ですか？以下(1)～(14)の各項目について、該当する番号（1～5）を記入下さい。

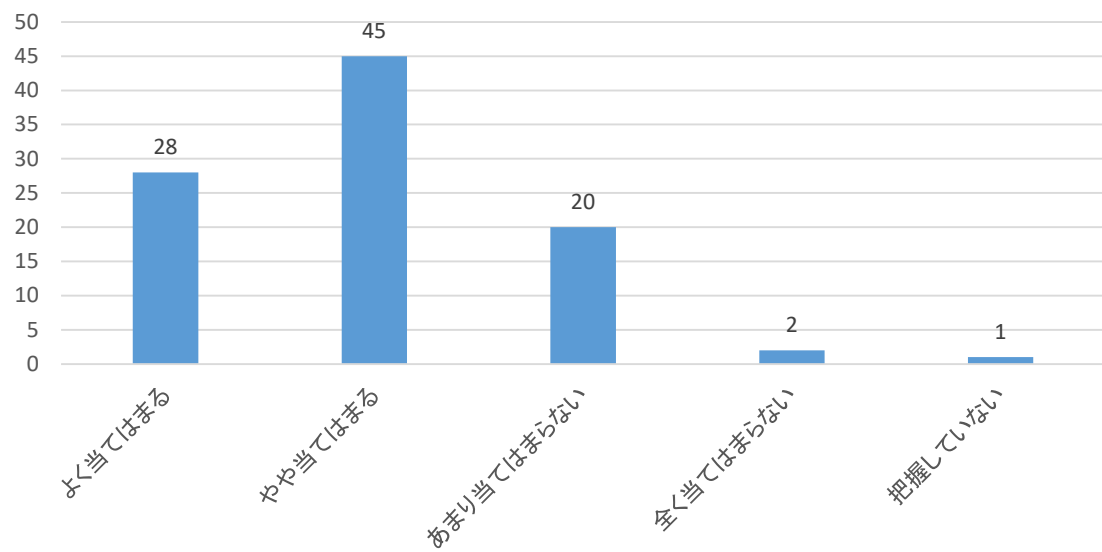
No.	阻害要因	
(1)	教職員の理解やモチベーションの不足	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	21
2	やや当てはまる	43
3	あまり当てはまらない	24
4	全く当てはまらない	7
5	把握していない	1

問6－(1)



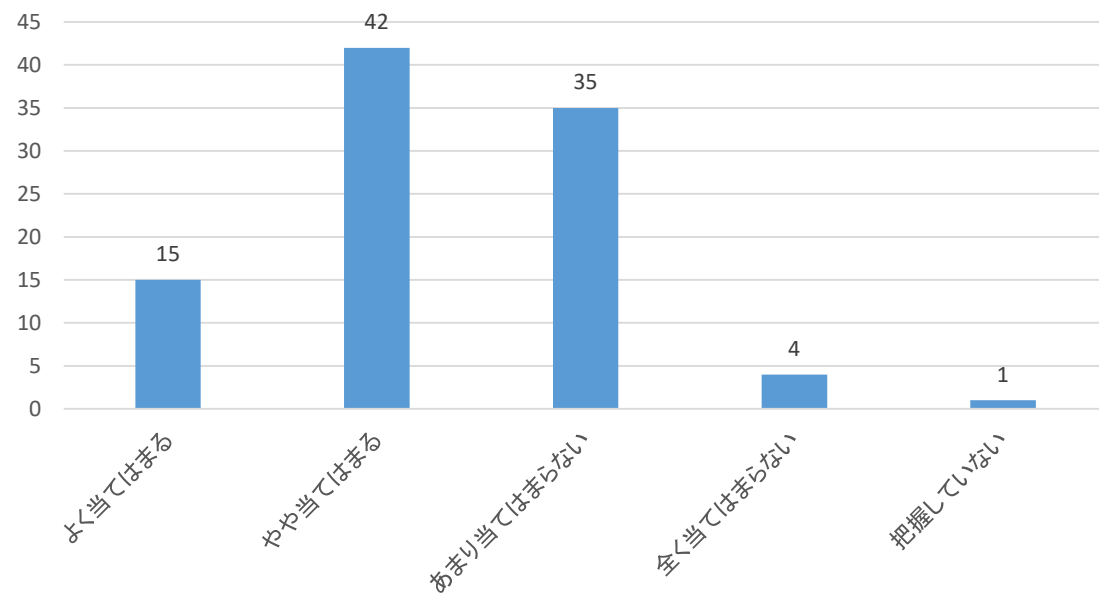
No.	障害要因	
(2)	教職員のICT活用スキル不足	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	28
2	やや当てはまる	45
3	あまり当てはまらない	20
4	全く当てはまらない	2
5	把握していない	1

問6－(2)



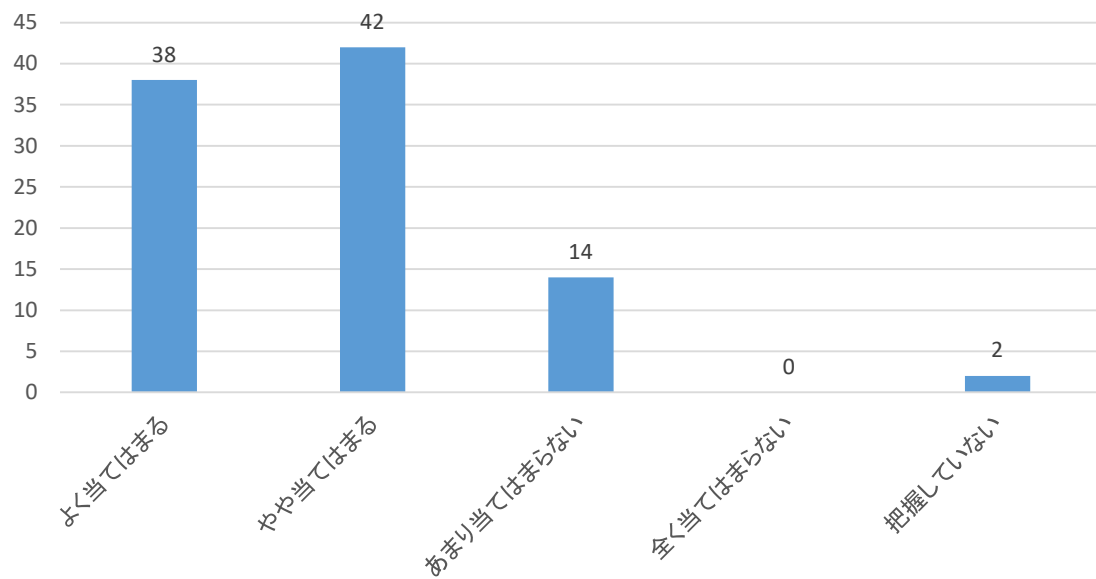
No.	障害要因	
(3)	学生のICT活用スキル不足	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	15
2	やや当てはまる	42
3	あまり当てはまらない	35
4	全く当てはまらない	4
5	把握していない	1

問6－(3)



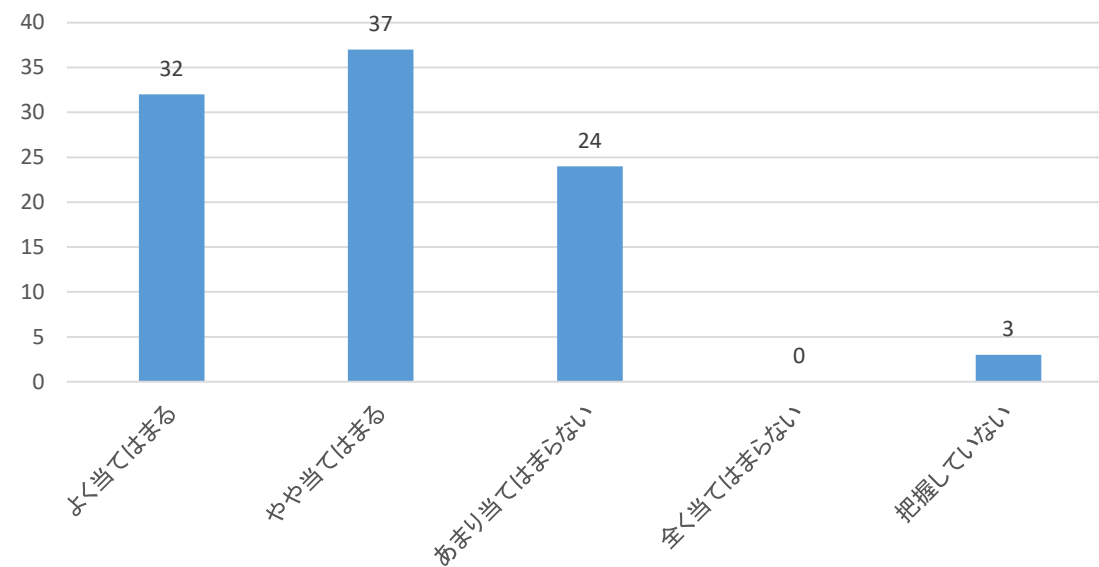
No.	阻害要因	
(4)	システム運用やコンテンツ開発に関するノウハウの不足	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	38
2	やや当てはまる	42
3	あまり当てはまらない	14
4	全く当てはまらない	0
5	把握していない	2

問6－(4)



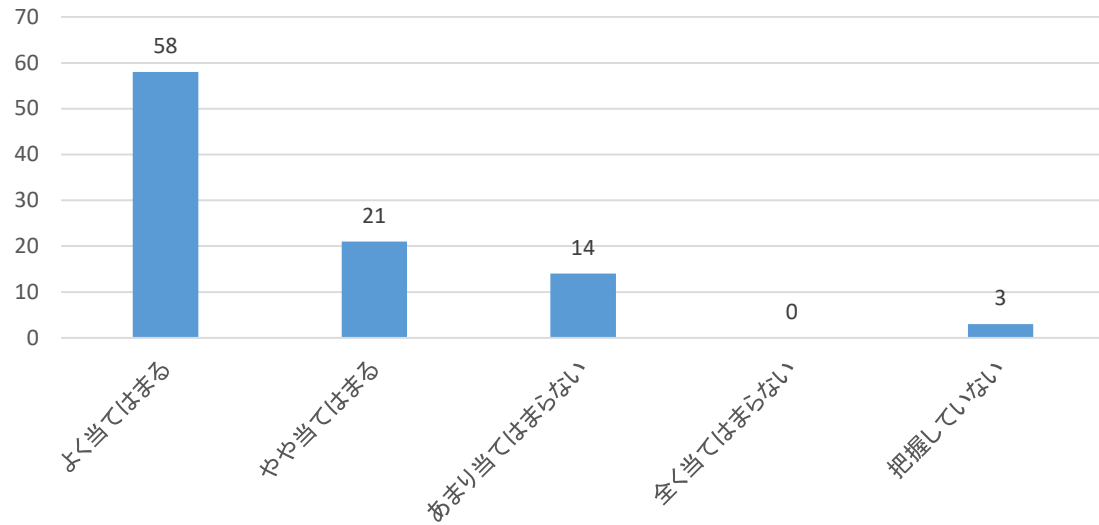
No.	阻害要因	
(5)	著作権処理等のノウハウの不足	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	32
2	やや当てはまる	37
3	あまり当てはまらない	24
4	全く当てはまらない	0
5	把握していない	3

問6－(5)



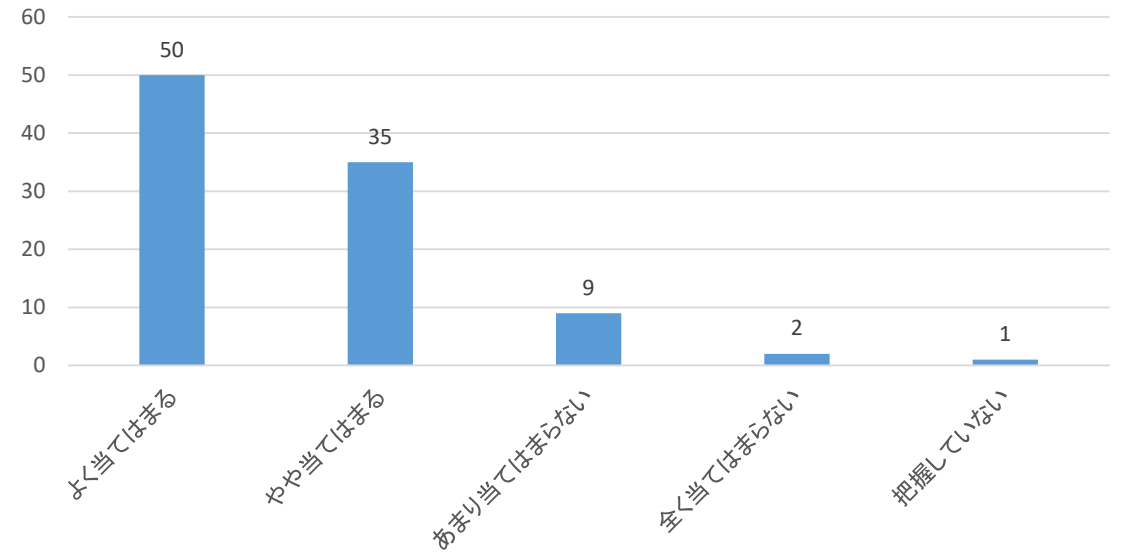
No.	阻害要因	
(6)	予算の不足	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	58
2	やや当てはまる	21
3	あまり当てはまらない	14
4	全く当てはまらない	0
5	把握していない	3

問6-(6)



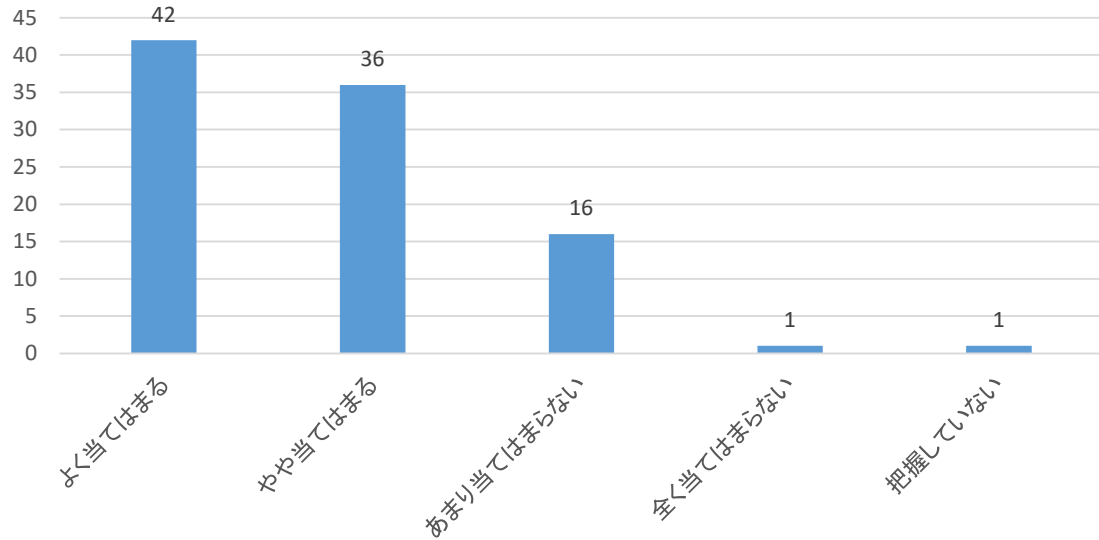
No.	阻害要因	
(7)	時間の不足	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	50
2	やや当てはまる	35
3	あまり当てはまらない	9
4	全く当てはまらない	2
5	把握していない	1

問6-(7)



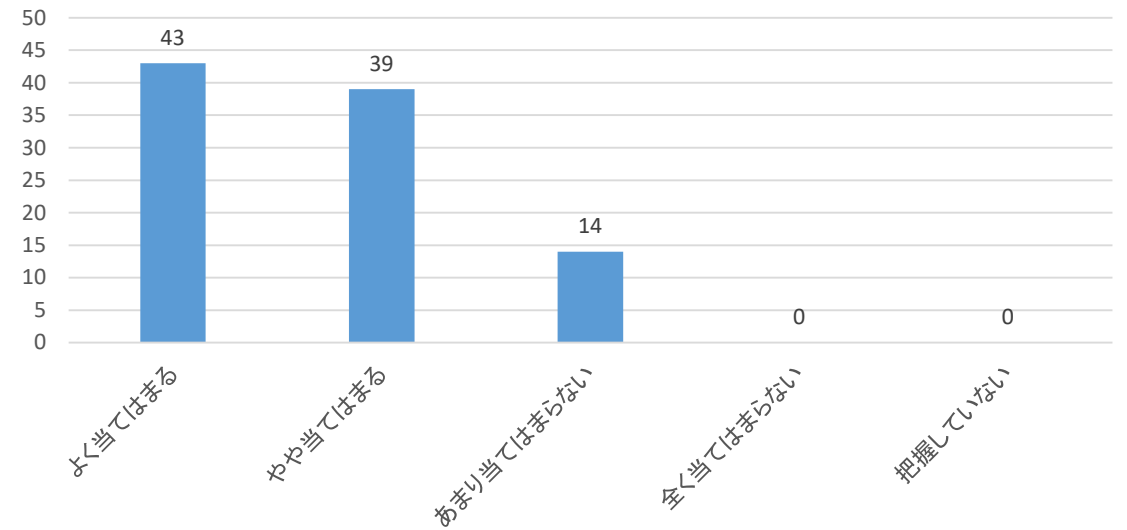
No.	阻害要因	
(8)	インフラの不整備	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	42
2	やや当てはまる	36
3	あまり当てはまらない	16
4	全く当てはまらない	1
5	把握していない	1

問6－(8)



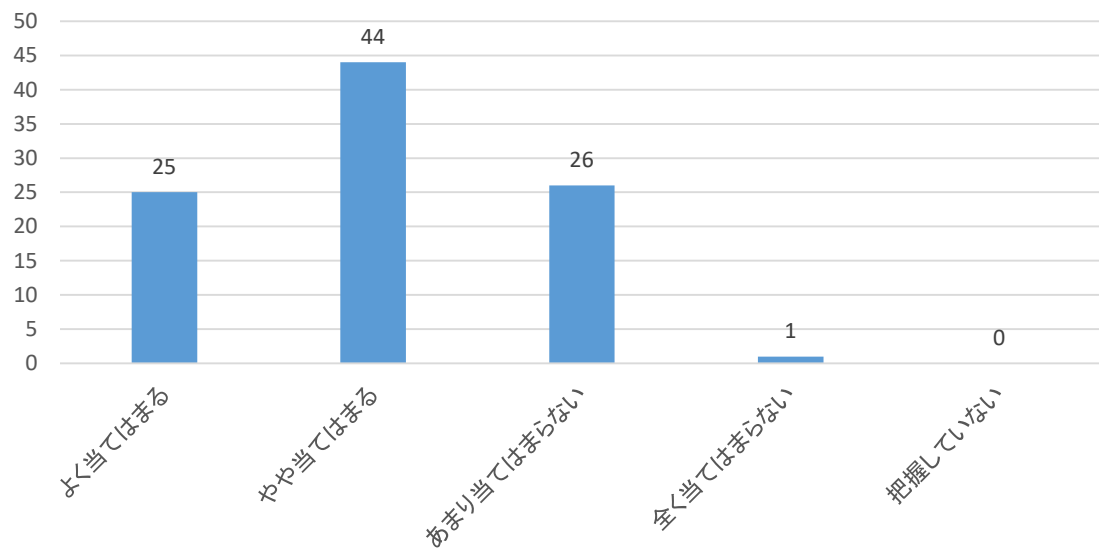
No.	阻害要因	
(9)	教職員へのICT活用の技術支援体制の不足	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	43
2	やや当てはまる	39
3	あまり当てはまらない	14
4	全く当てはまらない	0
5	把握していない	0

問6－(9)



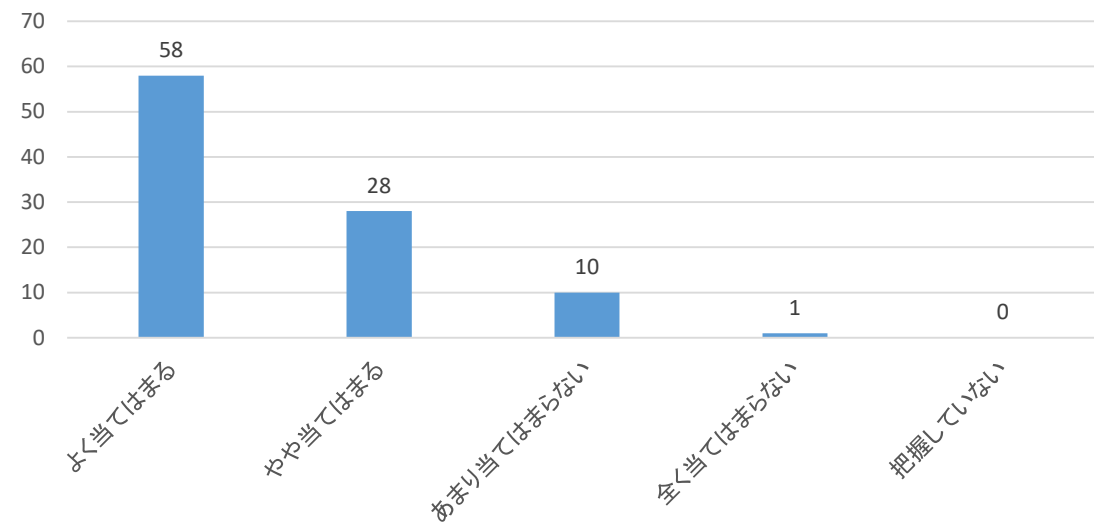
No.	障害要因	
(10)	学習者への学習支援体制の不足	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	25
2	やや当てはまる	44
3	あまり当てはまらない	26
4	全く当てはまらない	1
5	把握していない	0

問6-(10)



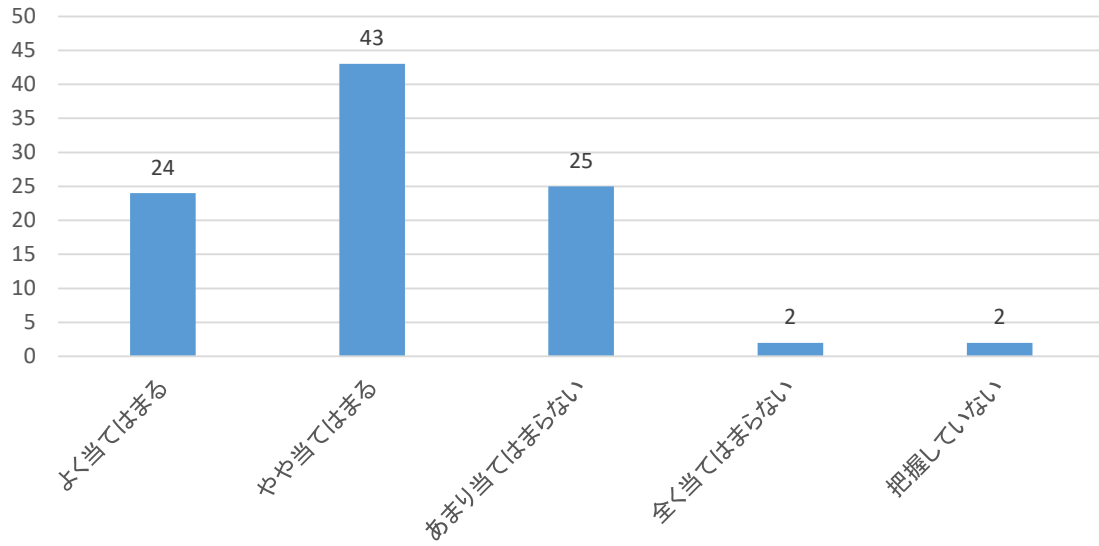
No.	障害要因	
(11)	システムやコンテンツを作成、維持する人員の不足	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	58
2	やや当てはまる	28
3	あまり当てはまらない	10
4	全く当てはまらない	1
5	把握していない	0

問6-(11)



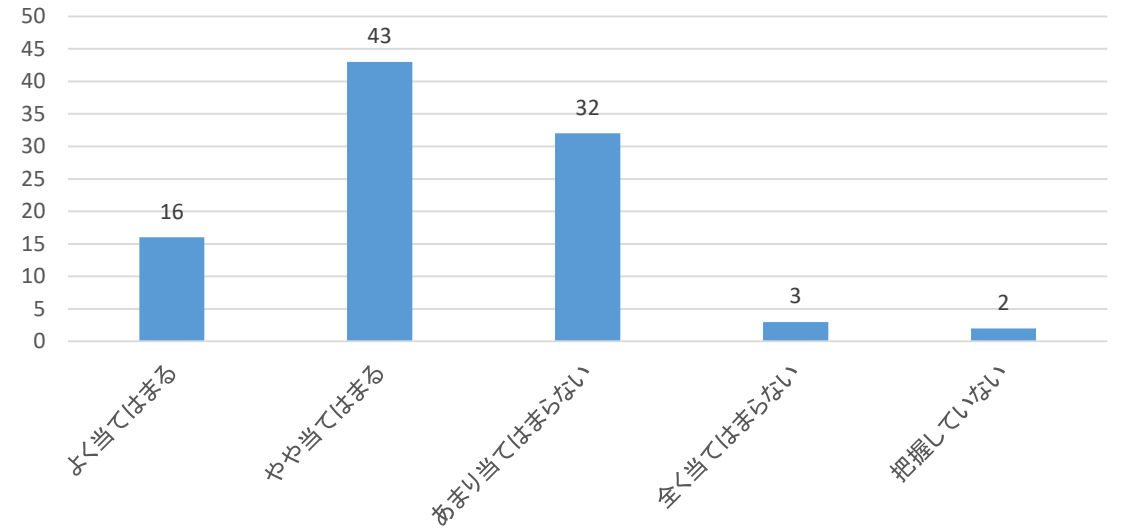
No.	阻害要因	
(12)	学内の組織的な協力体制支援の欠如	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	24
2	やや当てはまる	43
3	あまり当てはまらない	25
4	全く当てはまらない	2
5	把握していない	2

問6-(12)



No.	阻害要因	
(13)	学内コンセンサスの欠如	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	16
2	やや当てはまる	43
3	あまり当てはまらない	32
4	全く当てはまらない	3
5	把握していない	2

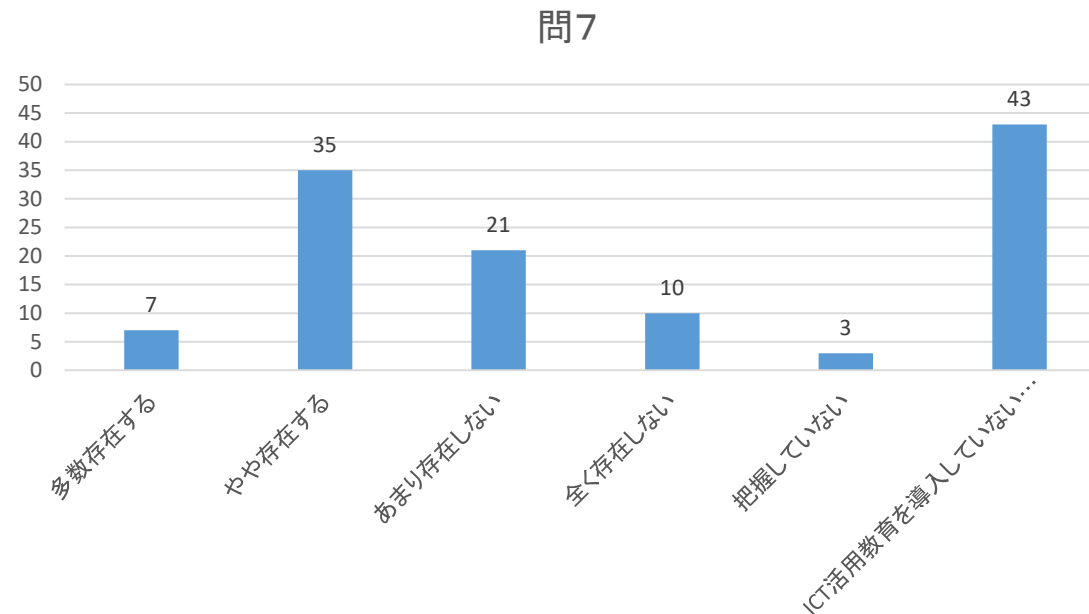
問6-(13)



No.	阻害要因
(14)	〔その他 ※自由記述〕
職員のICTに関するスキルの差による活用の差、不正アクセスによる情報漏洩が懸念される。	

問7. ICT活用教育を導入したデメリットは存在しますか？該当する番号を記入下さい。導入していない場合は、「ICT活用教育を導入していないので回答できない」を選択下さい。

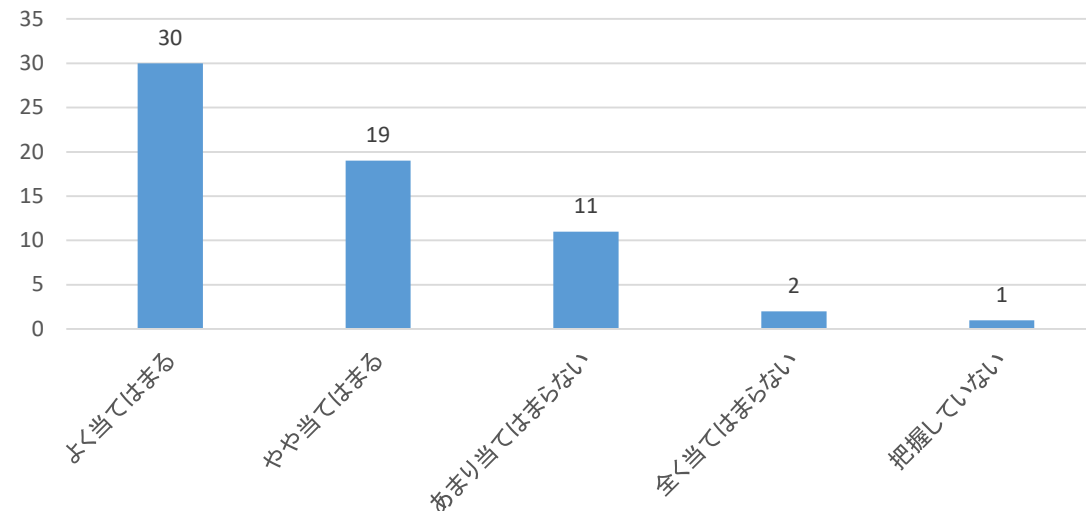
No.	選択肢	回答数
1	多数存在する	7
2	やや存在する	35
3	あまり存在しない	21
4	全く存在しない	10
5	把握していない	3
6	ICT活用教育を導入していないので回答できない	43



問8. 問7で選択肢「多数存在する/やや存在する/あまり存在しない」のいずれかを回答された方にお聞きします。そのデメリットは何ですか？以下(1)～(10)の各項目について、該当する番号（1～5）を記入下さい。

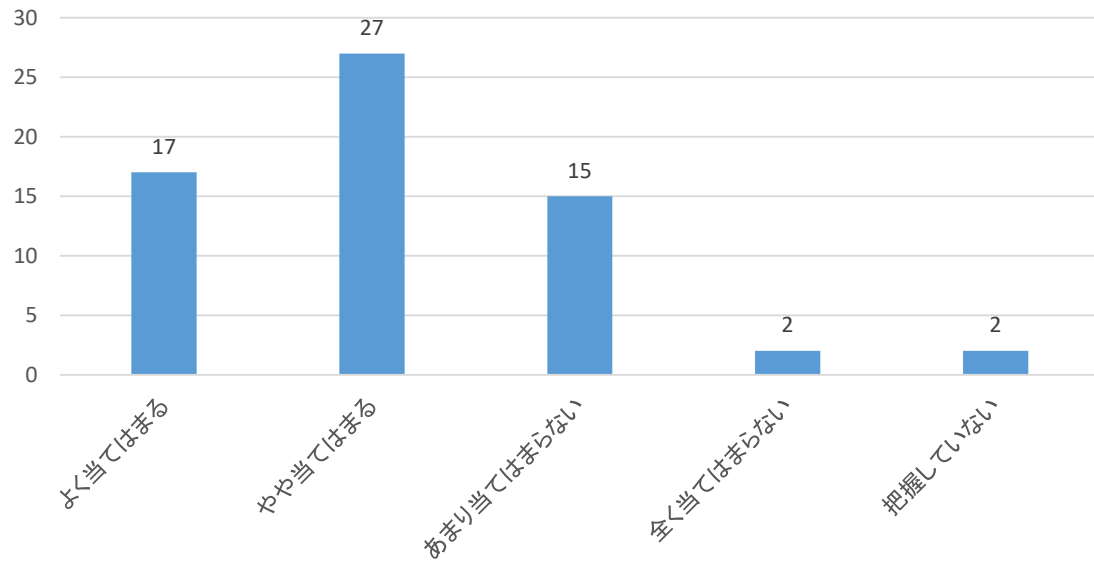
No.	デメリット	
(1)	コンテンツの作成など教員の負担増	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	30
2	やや当てはまる	19
3	あまり当てはまらない	11
4	全く当てはまらない	2
5	把握していない	1

問8－(1)



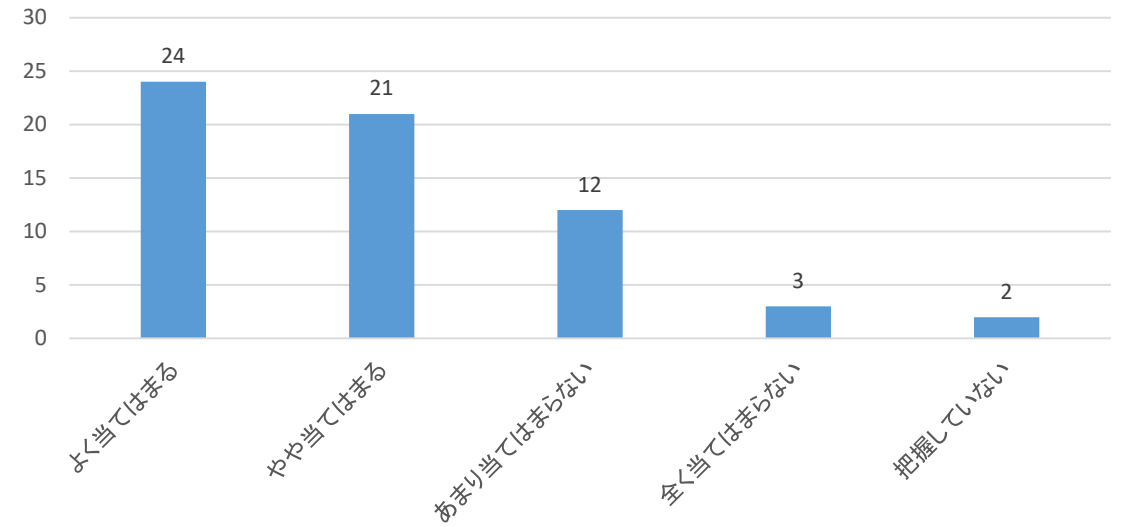
No.	デメリット	
(2)	事務作業の負担が増加	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	17
2	やや当てはまる	27
3	あまり当てはまらない	15
4	全く当てはまらない	2
5	把握していない	2

問8-(2)



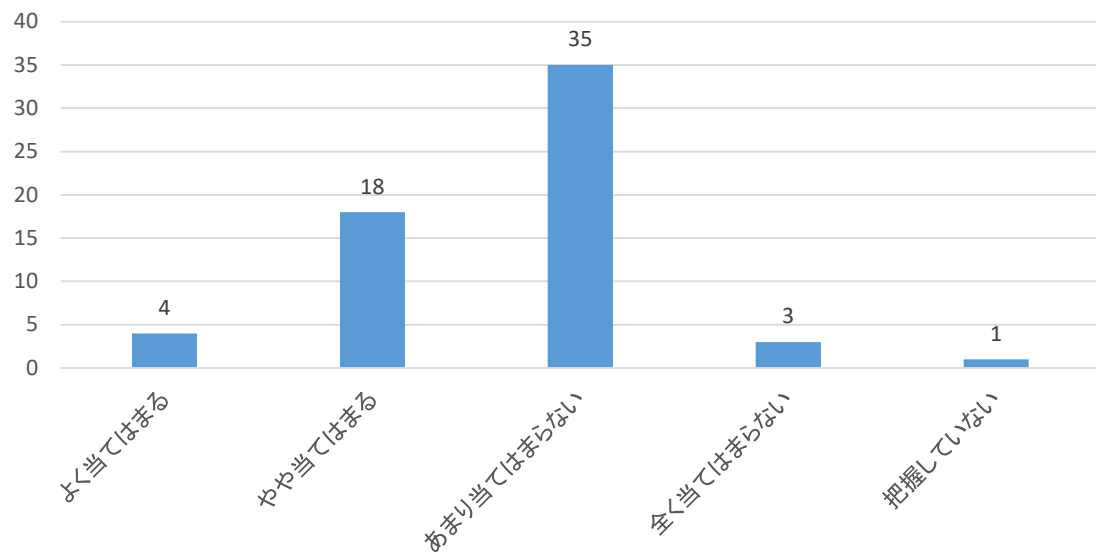
No.	デメリット	
(3)	予算コストが増加	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	24
2	やや当てはまる	21
3	あまり当てはまらない	12
4	全く当てはまらない	3
5	把握していない	2

問8-(3)



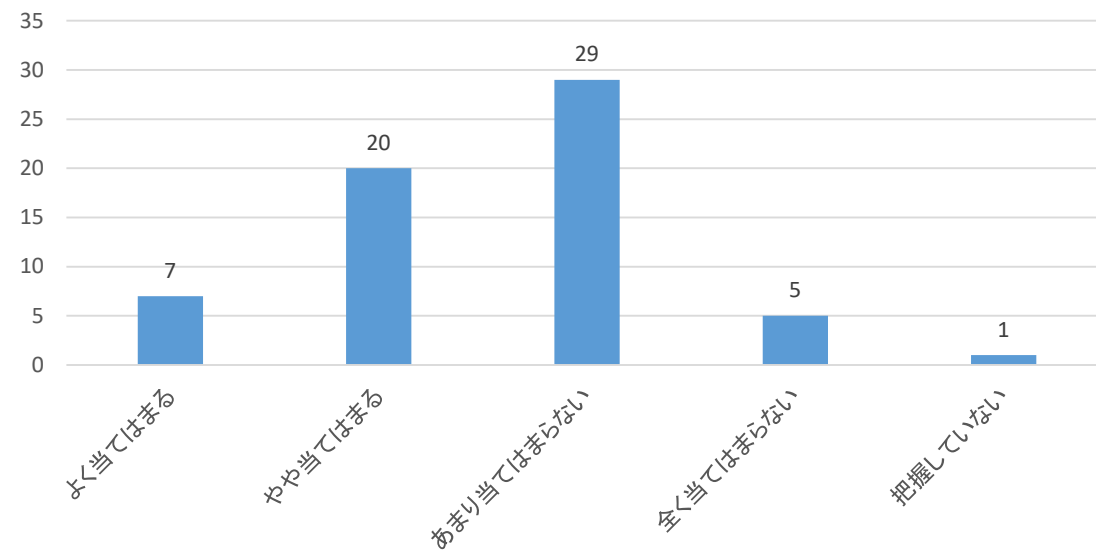
No.	デメリット	
(4)	対面授業と比べて学習効果が低下	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	4
2	やや当てはまる	18
3	あまり当てはまらない	35
4	全く当てはまらない	3
5	把握していない	1

問8－(4)



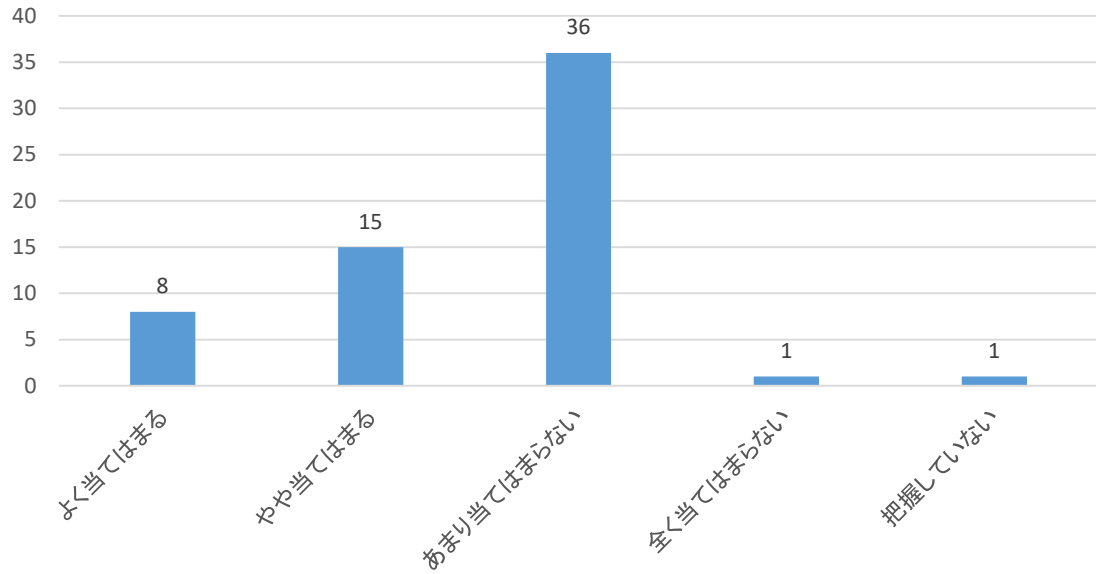
No.	デメリット	
(5)	学生の学習意欲を維持することが困難	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	7
2	やや当てはまる	20
3	あまり当てはまらない	29
4	全く当てはまらない	5
5	把握していない	1

問8－(5)



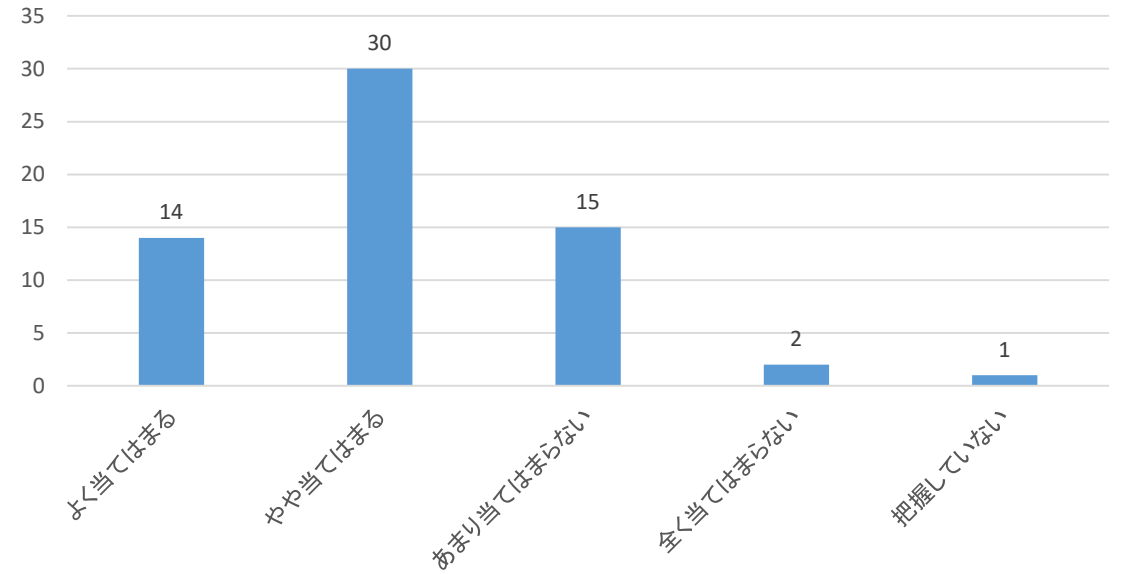
No.	デメリット	
(6)	学生との意思疎通の困難	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	8
2	やや当てはまる	15
3	あまり当てはまらない	36
4	全く当てはまらない	1
5	把握していない	1

問8-(6)



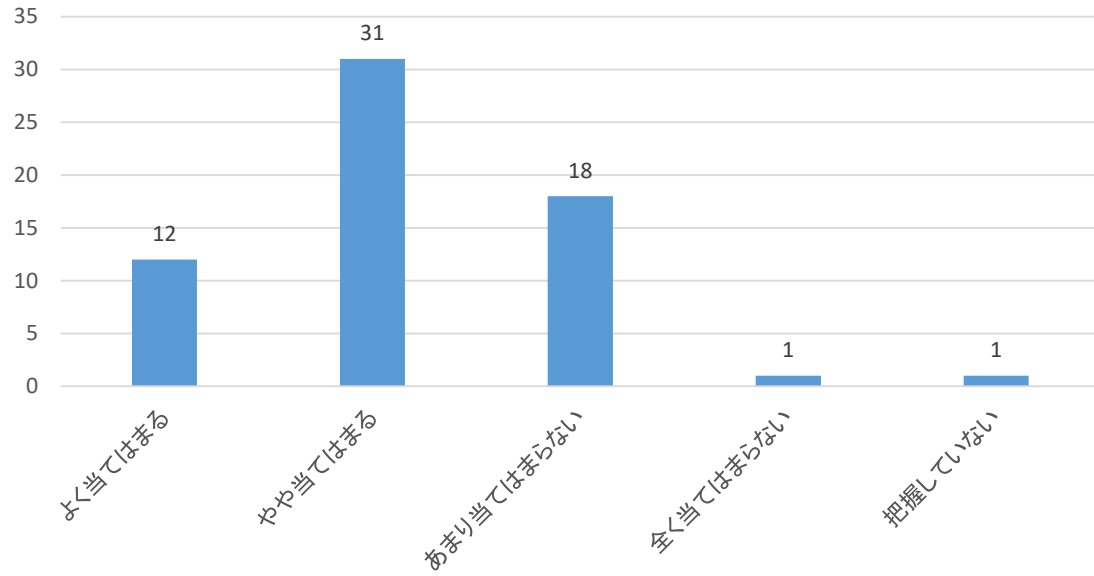
No.	デメリット	
(7)	システムの維持、管理で負担が増加	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	14
2	やや当てはまる	30
3	あまり当てはまらない	15
4	全く当てはまらない	2
5	把握していない	1

問8-(7)



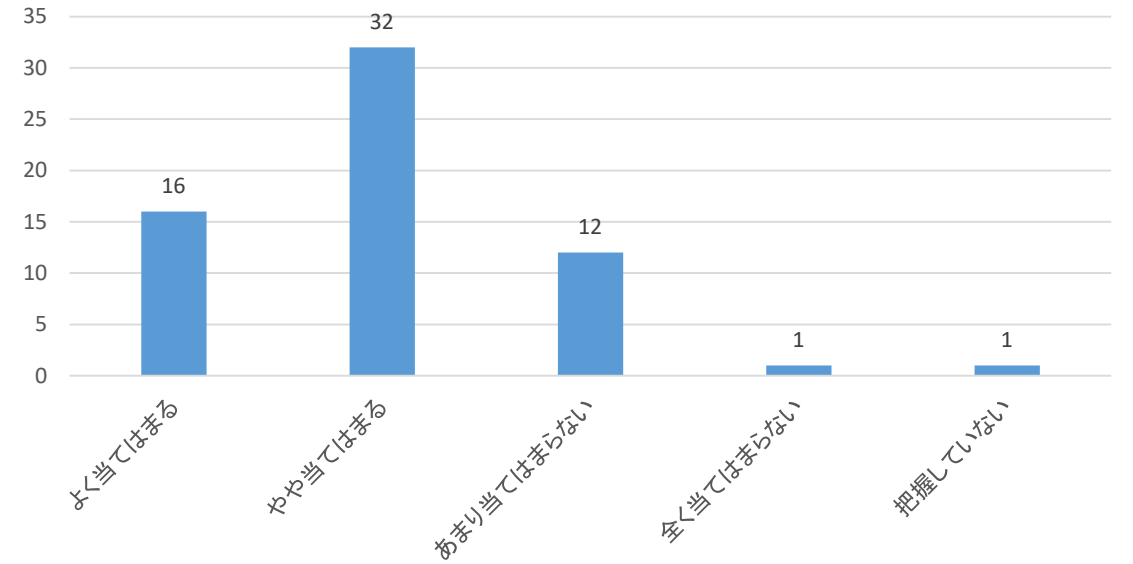
No.	デメリット	
(8)	ICTに不慣れな学生の対応の負担	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	12
2	やや当てはまる	31
3	あまり当てはまらない	18
4	全く当てはまらない	1
5	把握していない	1

問8－(8)



No.	デメリット	
(9)	ICTに不慣れな教職員の対応の負担	
No.	選択肢	回答数
1	よく当てはまる	16
2	やや当てはまる	32
3	あまり当てはまらない	12
4	全く当てはまらない	1
5	把握していない	1

問8－(9)



問9. ICT活用教育について、意見・感想・課題・今後の研修等に期待すること、等をお答え下さい。（自由記述）

- ・時代の変化に伴い、ICT活用教育の重要性は早急に高まることはおおいに予想されるため、活用を前向きに検討していますが、その前段としての方針策定や知識習得に向けた研修等に積極的に関わりたいと考えております。
- ・上記の解答のとおり、現状でのICT活用教育の導入については困難だと考えています。一方で、ICT活用教育の重要性は承知していますので、今後の動向については引き続き注視したいと思います。
- ・年々増加する新しいものに対応するためのリソースが問題である。
- ・学生にタブレットを持たせると効果的だと思うが、学生負担を考えると難しい。また、アプリケーション購入費用が高価なため、最新のバージョンを導入できない。パソコンに詳しい教員もいないため、教員全員が積極的に活用することが今では困難な状況。
- ・学生が、「受け身」の学習ではなく、ICTを活用した教材などにより「反転学習」などを行なう事で、基礎・基本的な事は学生が自習学習的に学び、発展的な事を授業により理解を深めるような形式の授業を展開したい。WORD、EXCELなどの基本的な操作はもちろん、プログラミングやCGの基礎などを反転学習により習得させたい。そのための指導体制や予算取りなどの準備が必要。
- ・専門分野外の教員のICT活用スキルが不足している。また授業準備等の時間も不足しており、コンテンツを充実させることができない。専門分野外の教員のICT活用スキルを向上できる研修等があれば、積極的に参加させたい。
- ・ICT教育は、単にICT機器を使う、教科書をデジタル化する、といった段階から、そのICT授業によって学生達の学習成果にいかに関わりつけることができたか、が問われる段階に入ってきていると考えます。しかし、そのいかに成果が上がったかということに対しての具体的な成果例が見られないのが現状です。ICT機器は便利なコミュニケーションツールではありますが、一方では様々な危険性を含んだ機器でもあります。そういった負の面も含めて、このように成果が上がったというしっかりとした検証をしていただければ、今後の導入に対して大きなきっかけとなる様に考えます。
- ・コンテンツの作成が教員の負担になります。特に実習系の授業担当者は学生の個々の指導におわれ、コンテンツを開発する時間がありません。また、既存のものでは内容が不足したり、高額で学生負担金が増えてしまう。今後の研修には各学科・科目別の具体的なICT活用事例の紹介や模擬授業、コンテンツの開発を実際に行う（グループで作成してみる）などもあるといいと思う。

・ICT活用教育を行うことは、有効だと考える。ただ、一般的にも言われている通り、学生達が何か困ったときに、自分で考え抜く力が弱くなってしまいう傾向があるのが否めない。今後その点を考慮しつつ、活用範囲を模索していきたい。

・現在は学生所有のノートPC・タブレット・スマホを活用しながら教育しています。今後はスマホだけで完結するような運営も考える必要があると感じています。

・デジタル系科目担当ではない職員で、自分で使えても授業に活用しきれないケースも多く、コンテンツ制作等にも時間が掛かる。また、機材の故障や設定不良の対応も基本的には担任が行う為、負担もある。SNSを含め「デジタル」に抵抗のある学生もおり、ICT教育の必要性を強く感じる中で、どのように指導をすることが有効なのか研修などに期待する。

・ライブの授業の大切さもある。すべてICT教育にすることは不可能であるが、ICTツールとライブ授業をうまく融合させながら実施していきたい。

・実習授業がメインで、活用に苦慮している。タブレット、動画教材等、学生費用負担も大きい。

・ICT教育は介護通信のみ導入しております。

・有効活用するためには、教員がいかんICTを理解し、より有効な活用法を習得、実践していくことだと考えます。現状では、それに費やす時間を業務内に取り入れることは難しく、十分な準備ができるほどの時間確保が困難であると考えています。

・今後、遠隔での双方向授業は促進されると考えます。しかし、多様な背景をもつ学生、特に基礎学力の強化が必要な学生にとって、教員の対面でない授業が果たして学習効果があるのか否か疑問や不安があります。本校の1学科のみデジタルテキストを導入していますが、そのみでアンケートに回答はしました。回答しにくかったのが率直な感想です。

・officeや一部LINEを使用しての授業は実施しているが、ICTの活用教育と言われれば、eラーニング・デジタル教材、LMSの活用のイメージが強く、そこについては、現状、まだ導入できていない。

・現状では、ICT活用教育は専門分野や学校によって、導入率に差があると思います。すでに導入している分野の学校における状況（特に、本校と同分野の学校の状況）は知りたいです。[導入に関するメリット、デメリットなど] 今後ICT教育を推進していくためには、分野に関係なくICTを活用できるハードとソフトの両面での環境づくりが求められます。そのためには、実際に教壇に立つ教員の教育環境の多様化に対する意識変革とともに各専門分野ごとにコンテンツ作成や利用に関するノウハウの研修が必要と考えます。導入するにあたっての高額費用が掛かるイメージがあるのと、デジタルコンテンツを作るにも、教員に授業をしながら並行して、コンテンツを作る時間的余裕もないのが現状。ICT分野に精通している教員が少ないことと、日頃ICTを活用しなくても運営できる環境があり、導入が遅れているが、導入により、教育効果がさらに上がり、教員の事務効率も上がるのであれば、導入したい。

- ・ ICT活用教育という言葉からする、活用のイメージが少なく、授業導入事例、運用事例を知りたいです。
- ・ 部分的な効果は期待できると思います。宜しくお願いします。
- ・ 先進的な授業用ツールとして捉えた場合、ICTツールが効果を期待できるのは、一部の教育分野に限定されるのではないか。たとえば、語学教育とくにヒアリング、スピーキングの訓練には間違いなくICTツールは効果を生むと思われる。授業用コンテンツとして捉えた場合、現状ではまだ玉石混交が疑われるとともに、コストが高すぎる。
- ・ アクティブラーニングでは、シラバスでの進捗状況に支障をきたしてくる。その為には、授業時間数の増加、資料づくりの為の教員への負担の増加等の問題解決が必要である。学科ごとの資料の作成には、時間的・経費の増加を考慮していかなくてはならない。但し、導入科目を限定したものであれば、学生の学習意欲向上につながると思う。
- ・ 国家試験対策に関してですが、最近導入いたしました。そのため、十分な評価ができておりません。しかしながら、今までに比べ学生の状況や進捗の把握には繋がっており、弱点チェックもできております。
- ・ 美容学校では今すぐに活用できないのではと考えられる。今後、ITが進めばいろいろと活用できるのではと考察される。
- ・ ICT教育自体をよく理解できていないので、基本的な概念や考え方などを教えて頂けると有り難いです。様々なメディアをミックスすることで業務効率が上がると思いますが、教育効果や学生の成長などがどの様に促進されるのか事例（成功・失敗）を知りたい。
- ・ ICT活用により教科書だけでは理解が難しい内容の理解度アップ、アクティブラーニングの実践、Eラーニングによる自宅での予習・復習などを進めたいと考えています。課題はICTを活用する教員研修です。今後は成功事例や具体的な導入方法についての研修を望みます。
- ・ 成功例を、できるだけ多く、具体的に伺いたい。
- ・ 高校の中で、授業中にスマホの活用が認められるようになっていくなところもある。ICT教育にどの様に取り組んでいくか、今後は私たちの日常生活中でも、さらに進化したものが開発されることが予測されます。今後は授業での活用も積極的に導入していくことが必要であると感じています。
- ・ 将来的には反転授業の導入も視野に入れておりまして、ICT教育の活用は必要不可欠と考えます。そのためには映像教材の制作が課題となりますので、ぜひとも研修を希望いたします。
- ・ eラーニングの有用性は実感しているものの、どのように（具体的に）導入していくべきか、思案中である。他の利用方法については、情報を持ち合わせていないため今後学んでいきたい。

- ・パソコンや端末を使つての授業を通じての学習は、学習者にとって知識や技術の習得に大変有用であると思います。ただし、弊社では、機器の未整備やネットワーク管理者の不足、導入後の不正アクセスによる個人情報保護法の漏洩とかの課題懸念されます。
- ・インフラの整備にかかる予算化が大きな課題と考えます。
- ・一言で申し上げるならば、「必要性は感じながらも、他の課題に追われ後回しになっている」という状況です。
- ・ICT活用においては、教員の事前導入教育が必須であり、先ずは教員がきちんとした知識で運用することが大切であると感じるため、このような研修を企画していただくと助かります。宜しく願いいたします。
- ・授業形態、授業運営が学科、教員に任されていることと、従来の教育方法に決定的な問題が無いため、ICT活用教育が進まない。ICT活用教育による圧倒的な学習成果が出れば進める。
- ・現状の課題は、(1)活用するための施設・設備の充実、初期投資の問題 (2)個々の教員の授業スタイルに適した、コンテンツの開発及び開発スキル (3)全体的なコンセンサスをいかに得るか 等が考えられる。
- ・今後の教育現場に不可欠であると思います。活用できるように整備と教員スキル向上に努めたいと思います。
- ・まず費用が大きく掛かることが難点の一つで、合理性・納得性を説明することが難しい。次に教職員のICTの理解がまばらであるため、理解のできる教職員への負担が大きい。ICTには、ICTが苦手な教職員でも簡易的に利用できる容易なUIが必要だと考えられる。
- ・専門学校においてもICT活用は必須になってくる。そのための人材確保・技術提供が専門的すぎる。もう少し簡易な医術で提供できるようなコンテンツの開発が必要。学生や教員のレベルが追いつかない。予算的にも低コストで導入できるように補助金などの検討をお願いしたい。
- ・ICT活用教育を実施できる体制が整えば、現代の学生にマッチした効果的な教育が実施できることは十分理解しているが、業界特性として、指導する教員のICTスキルを短期間でかつ学生へ指導できるレベルにまで養成することが難しい、という現状がある。
- ・教職員に対してICT利用によるメリットをしっかりと継続的に伝える機会が必要だと考えます。

■ 回答者（教務部長または教務責任者）情報 ※未記入の回答分はカウントしていません。

年齢	平均45歳
性別	男性110名、女性9名
教員歴	平均19年